

ワイドパネルシャッター A 型

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、**施工前に必ず取付説明書をお読みください。**

◆工事区分についてのお願い

この商品の施工工事におきましては施工業者様が複数に別れます。

確実に施工を行なっていただくため下に示します工事区分表で工事をお願いします。

(1) 工事区分表

施工工程	施 工 範 囲	施工担当者
1.本 体 施 工	取付説明書内P14「14. CD管の配管」 までの本体工事	販工店様
2.電 気 工 事	取付説明書内P15「15. 結線」	電気工事店様 (電気工事士資格者)
3.表面仕上げ工事	取付説明書内P17「18. パネル割付け」から P22「22.笠木、笠木コーナーキャップ、端部 キャップの取付け」まで	販工店様
4.シャッター工事	取付説明書内P23「23. シャッター取付工事」 工事内容は ・シャッター取付工事 ・2次側配線（側壁上部とシャッター制御部の結線） ・光電センサーの光軸調整 ・シャッターの上限、下限調整 ・運転確認およびリモコン作動確認	三和シャッター工業（株）

(2) 取付説明書、取扱説明書の引継ぎ手順



■ご注意とお願い

ワイドタイプのシャッターを搭載する本商品の施工におきまして、施工業者様および、その施工区分が複数に分かれます。それにとまなないまして「未施工部」や「取付説明書の紛失」など後施工工程にトラブルが発生するおそれがあります。つきましては、工事前の工事区分の確認と調整、施工後におきまして取付説明書最終ページの「施工チェックリスト」で再度、施工範囲内の工事が完了していることを確認してください。

■梱包明細書

本体ユニット

① 前面パネル用フレーム

名 称	員 数
前面パネル用フレーム	1
間口ガイド材	1
光電センサー用CD管1 L=6800 (針金入)	1
光電センサー用CD管2 L=1800 (針金入)	1

② 側壁フレーム (右)

名 称	員 数
側壁フレーム (右)	1

③ 側壁フレーム (左)

名 称	員 数
側壁フレーム (左)	1

④ 笠木・前面パネル下カバーセット

名 称	員 数
前面笠木	1
前面パネルコーナー材	1
前面パネル上カバー	1
前面パネル下カバーA	1
前面パネル下カバーB	1

⑤ 巾木・笠木セット

名 称	員 数
巾木1 (右)	1
巾木1 (左)	1
巾木2	2
巾木3	2
巾木4 (右)	1
巾木4 (左)	1
巾木コーナーキャップ	6
側壁笠木	2
笠木コーナーキャップ	2
笠木端部キャップ	2

⑥ レールステイセット (ステンタイプ)

名 称	員 数
柱カバー (右)	1
柱カバー (左)	1
レールステイ (右)	1
レールステイ (左)	1

⑦ レールステイセット (アルミタイプ)

名 称	員 数
柱カバー (右)	1
柱カバー (左)	1
レールステイ (右)	1
レールステイ (左)	1
センサー取付持出し金具	2
持出し金具取付ネジ $\phi 4 \times 13$ ドリルネジ	4

⑧ 部品セット (取付説明書・取扱説明書在中)

名 称	員 数
支柱側ベースプレート	2
控え柱ベースプレート (右)	1
控え柱ベースプレート (左)	1
前面パネル取付金具 (上)	2
前面パネル取付金具 (下)	2
レベル調整金具 (前面パネル)	2
レベル調整金具 (支柱)	4
間口ガイド材取付金具	2
アイボルト M12	2
シール剤 333ml	1
支柱レベル調整金具組付ボルト M8×12	8
支柱レベル用調整ボルト M10×100 (全ネジ)	4
支柱ベースプレートジョイントボルト M8×150	4
支柱ベースプレートジョイントボルト用ナット M8	4
支柱ベースプレートジョイントボルト用平座金 M8	4
支柱ベースプレートジョイントボルト用バネ座金 M8	4
控え柱ベースプレート固定・調整ボルト M10×50 (全ネジ)	6
控え柱ベースプレート固定平座金 M10	2
控え柱固定バネ平座金 M10	2
ホールインアンカー M10 L=60	8
前面パネル取付ボルト M10×25 (Wセムス)	20
間口ガイド材取付金具取付ネジ $\phi 4 \times 10$ トラス	8
前面パネル用レベル調整金具組付ボルト M8×12	4
前面パネルレベル用調整ボルト M10×35 (全ネジ)	2
前面パネルコーナー材取付ネジ $\phi 4 \times 10$ トラス	17
前面パネル上カバー取付ネジ $\phi 4 \times 35$ ナベ	4
前面パネル下カバーA,B組付ネジ $\phi 4 \times 10$ トラス	12
巾木取付ネジ $\phi 4 \times 13$ ドリルネジ	34
柱カバー取付ネジ $\phi 4 \times 35$ ナベ	12
レールステイ取付ネジ1 $\phi 4 \times 40$ ナベ	12
レールステイ取付ネジ2 $\phi 4 \times 10$ トラス	12
笠木取付ネジ $\phi 4 \times 19$ ドリルネジ	14
笠木取付座金 M4シーリングワッシャー	14
アンテナ取付ネジ $\phi 4 \times 19$ ドリルネジ	2
キャップ取付ネジ $\phi 4 \times 14$ ナベ	14
キャップ取付座金 M4シーリングワッシャー	14
プッシュボタン	28
投光側光電センサー (コード7m付)	1
受光側光電センサー (コード2m付)	1
光電センサーカバー (右)	1
光電センサーカバー (左)	1
光電センサー取付金具	2
光電センサーカバー取付ネジ $\phi 4 \times 8$ トラス	8
光電センサー取付金具取付ネジ $\phi 4 \times 8$ トラス	4
光電センサー取付ネジ M4×25ナベ	4
光電センサー取付ナット M4	4
CD管止めサドル	2
CD管止めサドル取付ネジ $\phi 4 \times 10$ ドリルネジ	4
取付説明書・取扱説明書	各1

小袋入り

■梱包明細書

パネルユニット

① パネルセット

セット名称	部品名称	働き寸法 W×H	員 数	必要梱包数	
				H21	H23
A-1	A-1	800×300	2	14	14
A-2	A-2	800×150	2	—	1
B-1	B-1	193×300	9	2	2
B-2	B-2	193×150	2	—	1
C-1	C-1 (右)	660×300	1	6	6
	C-1 (左)	660×300	1		
C-2	C-1 (右)	660×300	1	1	1
	C-2 (左)	660×300	1		
C-3	C-3 (右)	660×150	1	—	1
	C-3 (左)	660×150	1		
C-4	WC-4 (右)	660×300	1	1	1
	C-1 (左)	660×300	1		
C-5	WC-5 (右)	660×300	1	1	1
	C-1 (左)	660×300	1		
D-1 (右)	WD-1 (右)	360×300	7	1	1
D-1 (左)	WD-1 (左)	360×300	7	1	1
D-2	WD-2 (右)	360×150	1	—	1
	WD-2 (左)	360×150	1		
Eセット①	WE-1 (右)	736×300	1	1	1
	WE-1 (左)	736×300	1		
	WE-2	672×300	1		
Eセット②	WE-3 (右)	570×300	1	1	1
	WE-3 (左)	570×300	1		
	WE-4 (右)	170×300	1		
	WE-4 (左)	170×300	1		

② パネル取付部品・ネジセット

名 称	員 数
パネル取付金具100	23
パネル取付金具40	184
パネル位置出し材	2
パネル取付金具用固定ネジ φ4×13ドリルネジ	217(予備10)

③ Tブロック ラテル専用接着剤 (灰色)

名 称	員 数
専用接着剤 (灰色)	1

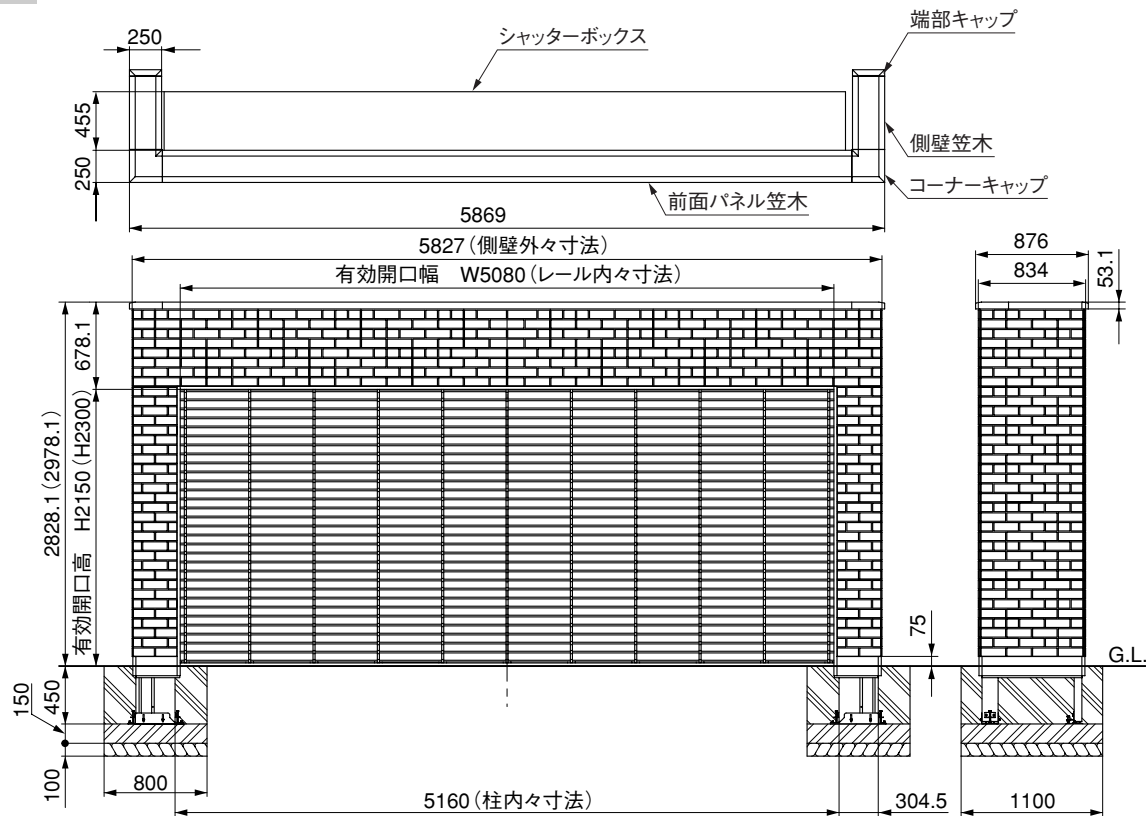
④ Tブロック ラテル継ぎ目補修材 (灰色)

名 称	員 数
継ぎ目補修材 (灰色)	500g
刷毛	1
カップ	1
取付説明書 (継ぎ目補修材専用)	1

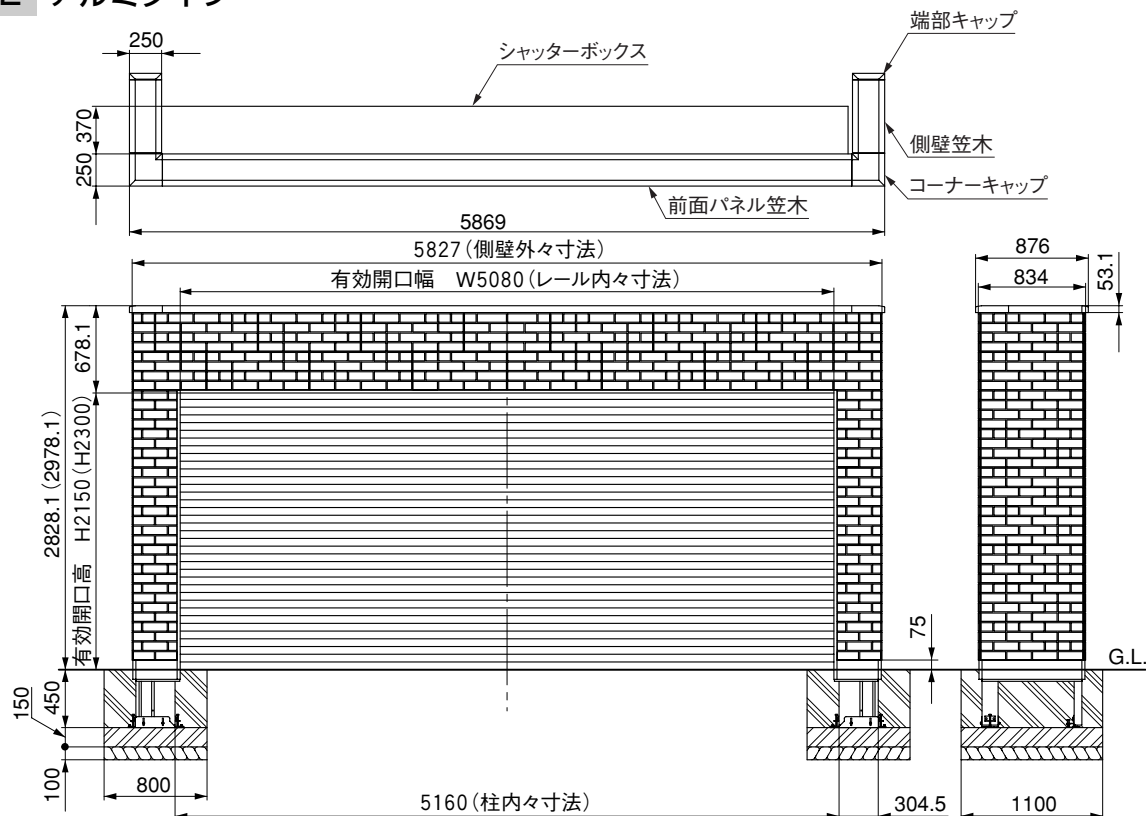
1. 基本寸法および各部名称

※図はH2150です。() 寸法はH2300です。

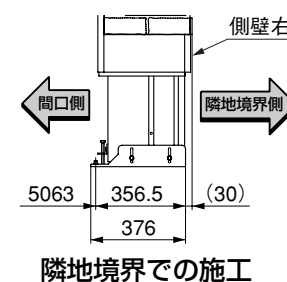
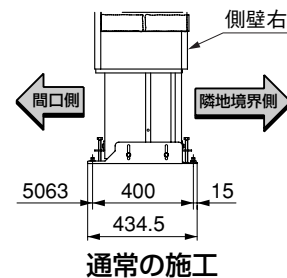
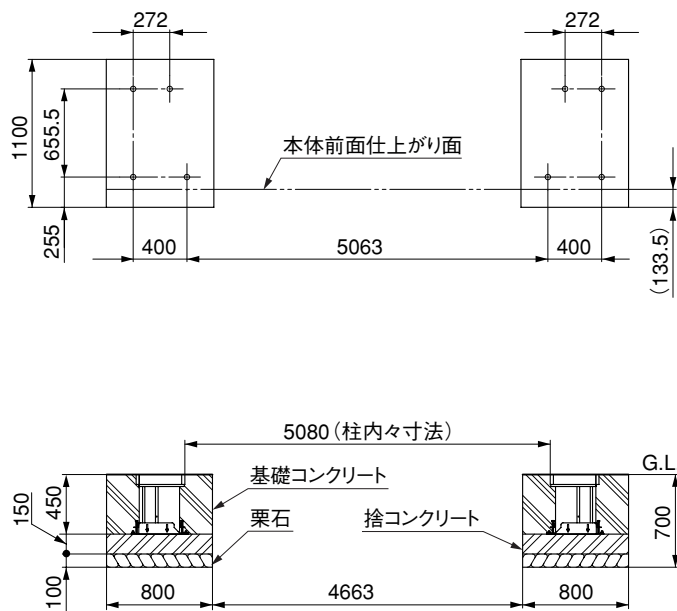
1-1 ステンタイプ



1-2 アルミタイプ



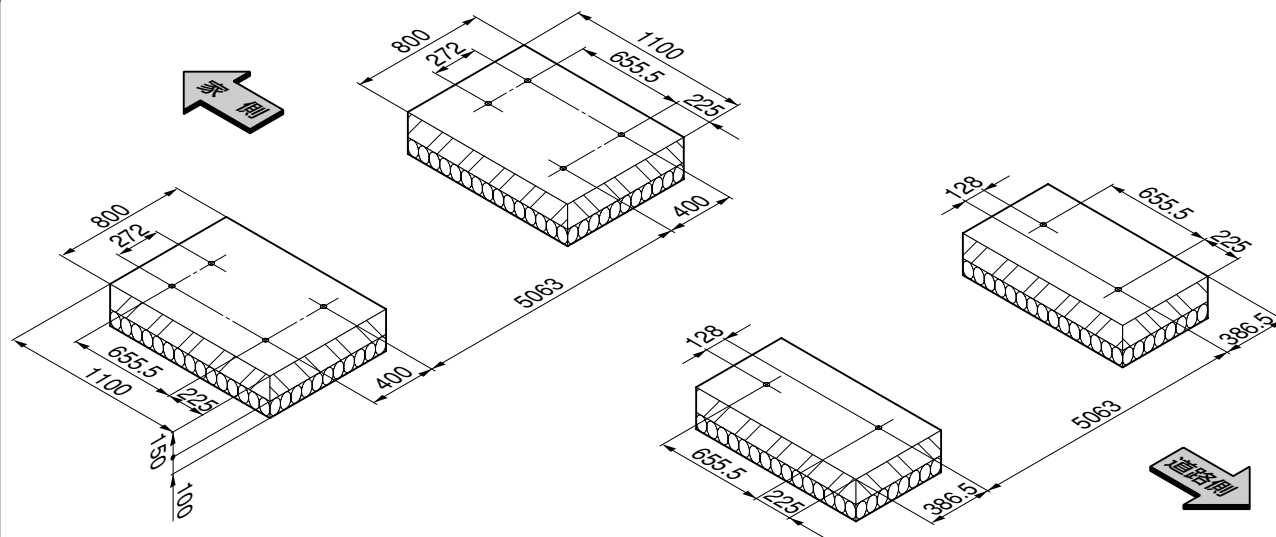
2. 基礎部分の寸法



<注 意>

- 隣地境界での施工の場合
壁等の障害物があるときは、障害物の面にパネルを取付けた状態で施工してください。

3. 基礎の施工

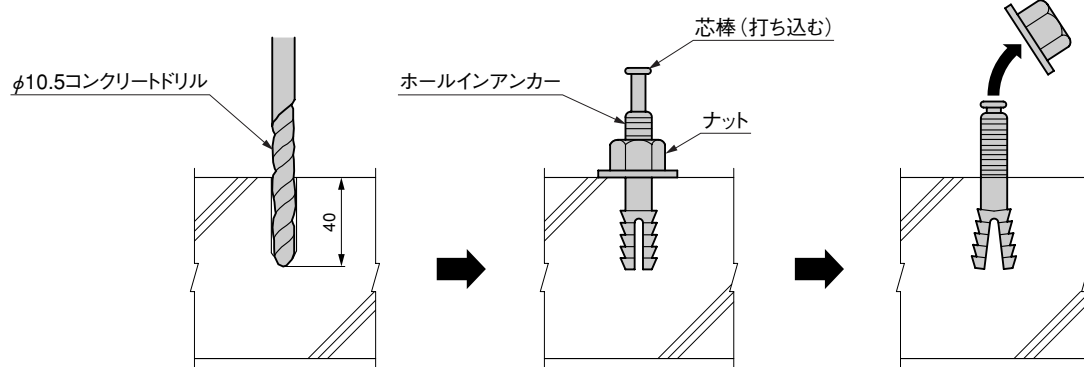


- ① 「2.基礎部分の寸法」を参考にして、捨てコンクリートを施工してください。
- ② 墨出しをして、ホールインアンカーの穴あけ(φ10.5)を行なってください。
- ③ ホールインアンカーを打ち込んでください。

<注 意>

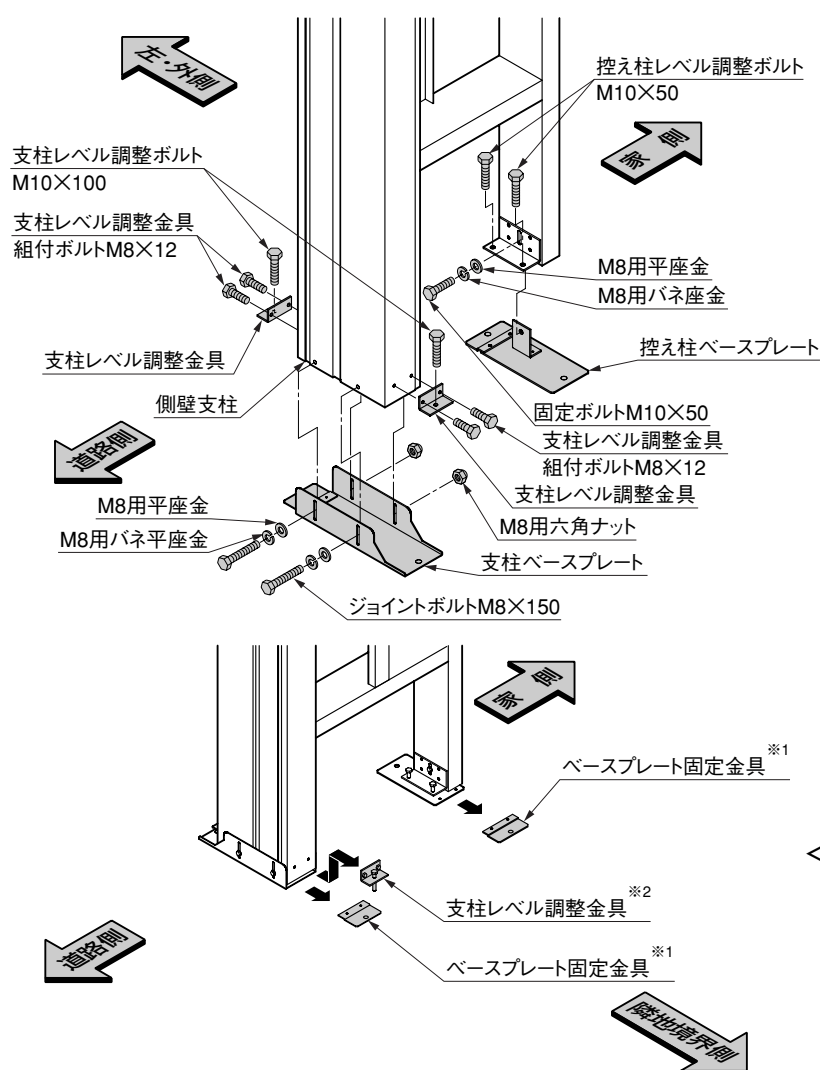
- 穴あけはコンクリートが十分硬化してから行なってください。
- 隣地境界線ぎりぎりに施工する場合、隣地境界側のホールインアンカーは取付けないで、隣地境界線側へ側壁パネル本体を寄せ付けて施工してください。
- 隣地境界でない方は、通常の基礎施工を行なってください。

4. ホールインアンカーの施工

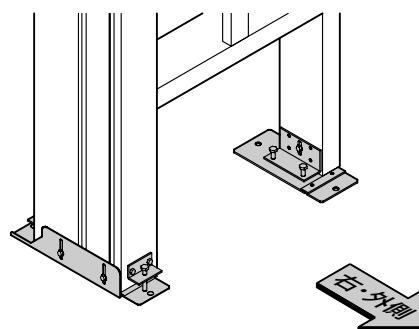


- ① 直径10.5mmのコンクリートドリルで、深さ40mmの下穴をあけてください。
- ② ホールインアンカーに付属のナットを、手で一杯までネジ込んでください。
- ③ 穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で十分打ち込んでください。
- ④ ナットを一担、取りはずしてください。

5. ベースプレートの取付け



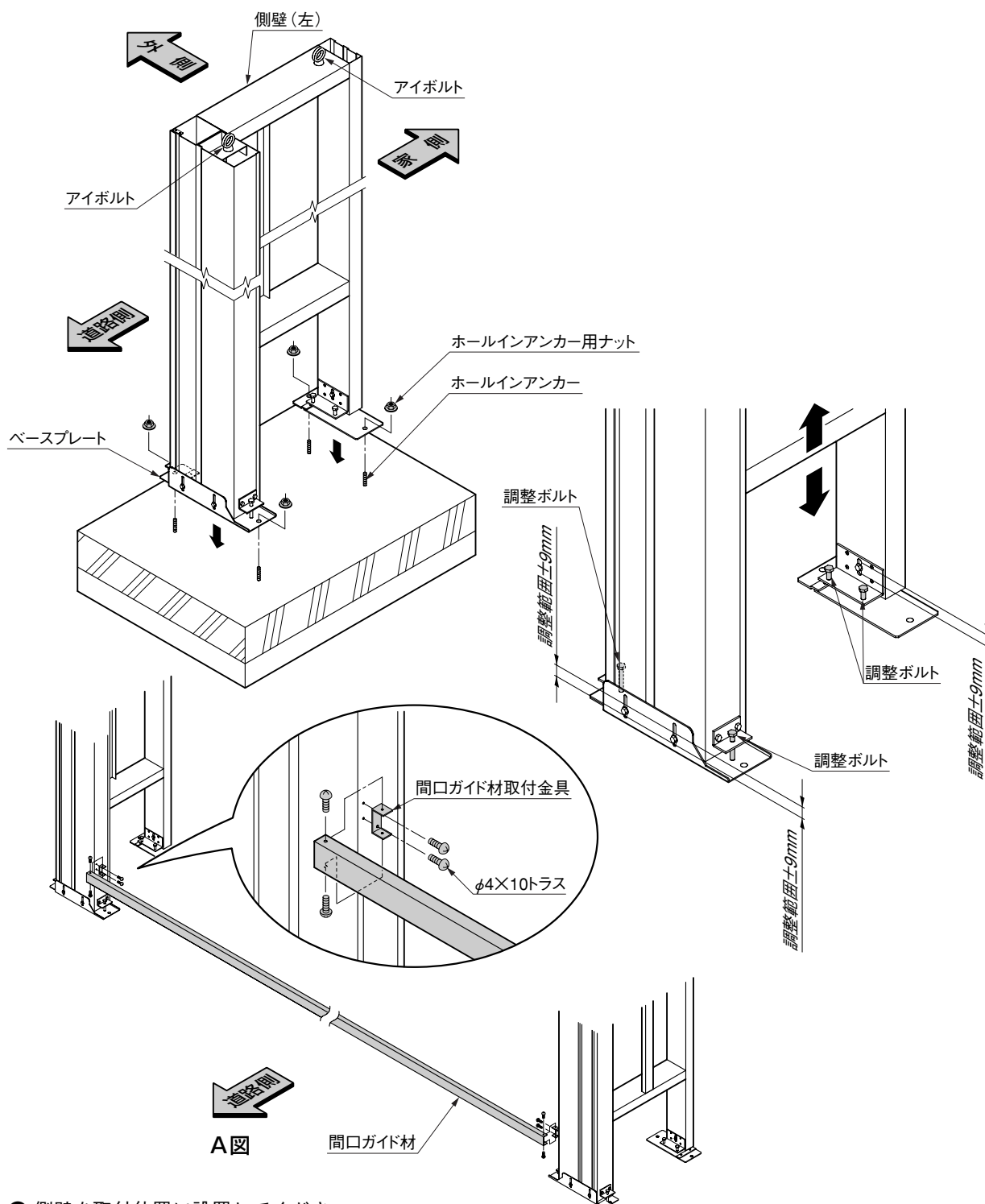
- ① 側壁支柱に支柱レベル調整金具(左右)を組付ボルト(M8×12)で取付けてください。
- ② 支柱レベル調整ボルト(M10×100)、控え柱レベル調整ボルト(M10×50)をレベル調整金具に取付けてください。
- ③ 支柱ベースプレートをジョイントボルト(M8×150)、控え柱ベースプレートを固定ボルト(M10×50)で固定してください。



<注 意>

- 隣地境界ぎりぎりに施工する場合は、ベースプレート固定金具(※1)を取りはずしてください。また、隣地境界側の支柱レベル調整金具(※2)は取付ける必要がありません。

6. 壁ユニットの固定

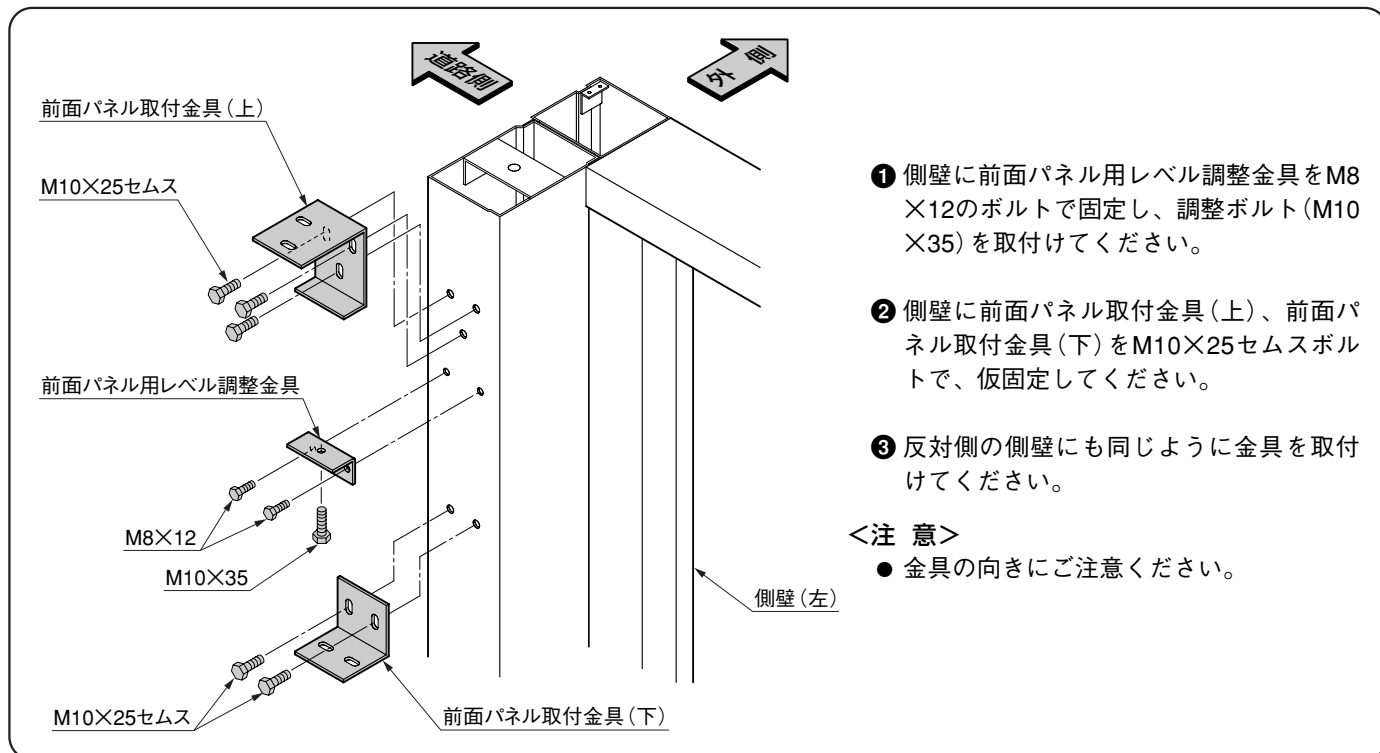


- ❶ 側壁を取付位置に設置してください。
- ❷ ベースプレートをホールインアンカーに仮固定してください。
- ❸ A図のように側壁の左右に間口ガイド材取付金具をφ4×10トラスネジで取付けてから、間口ガイド材をφ4×10トラスネジで取付けてください。
- ❹ ホールインアンカーを固定してください。
- ❺ 調整ボルトをまわして、レベルの調整を行なってください。
- ❻ 調整後、ボルト,ナットを本締めしてください。

<注 意>

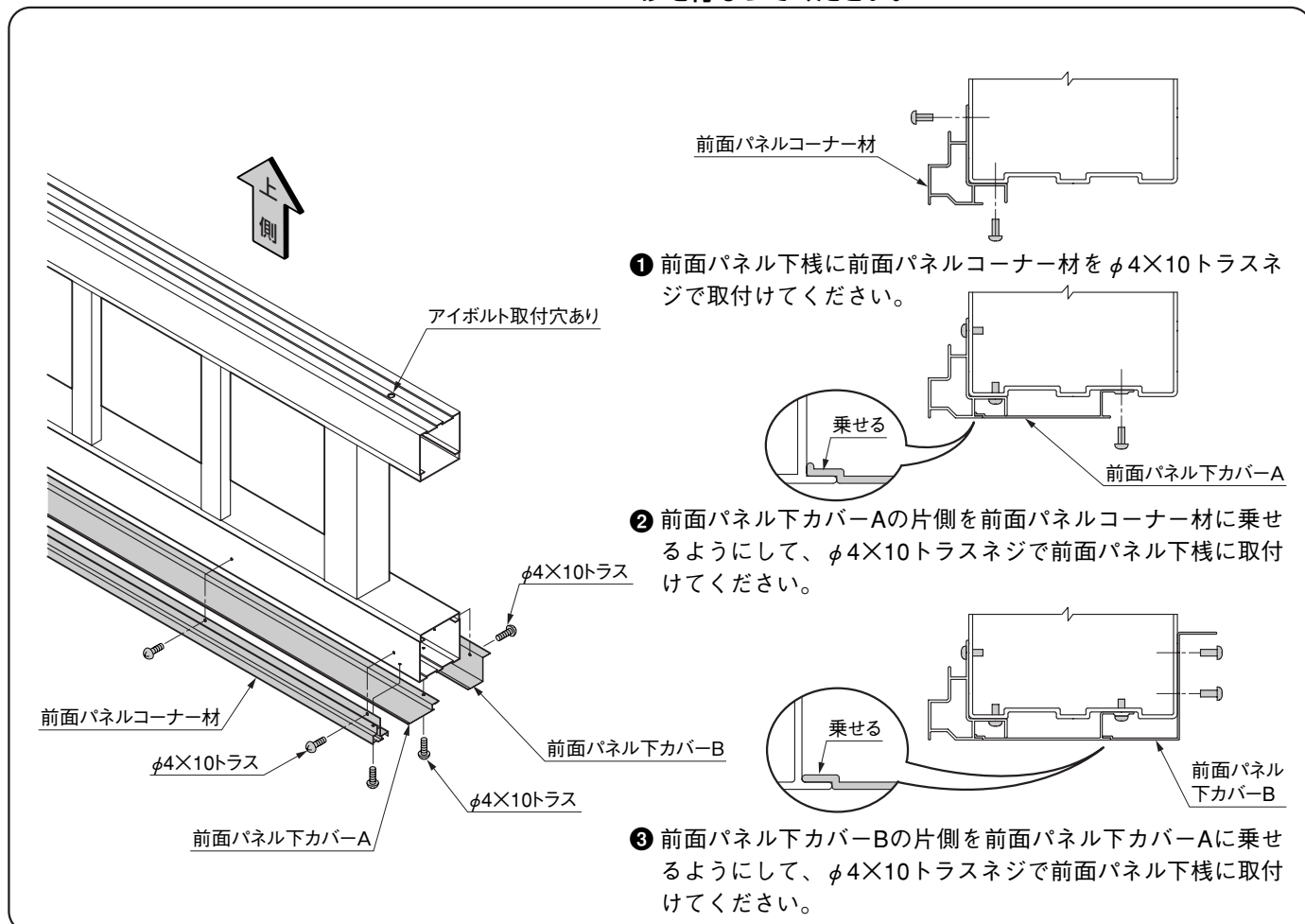
- 側壁のアイボルトは、はずして使用してください。

7. 前面パネル取付金具の取付け

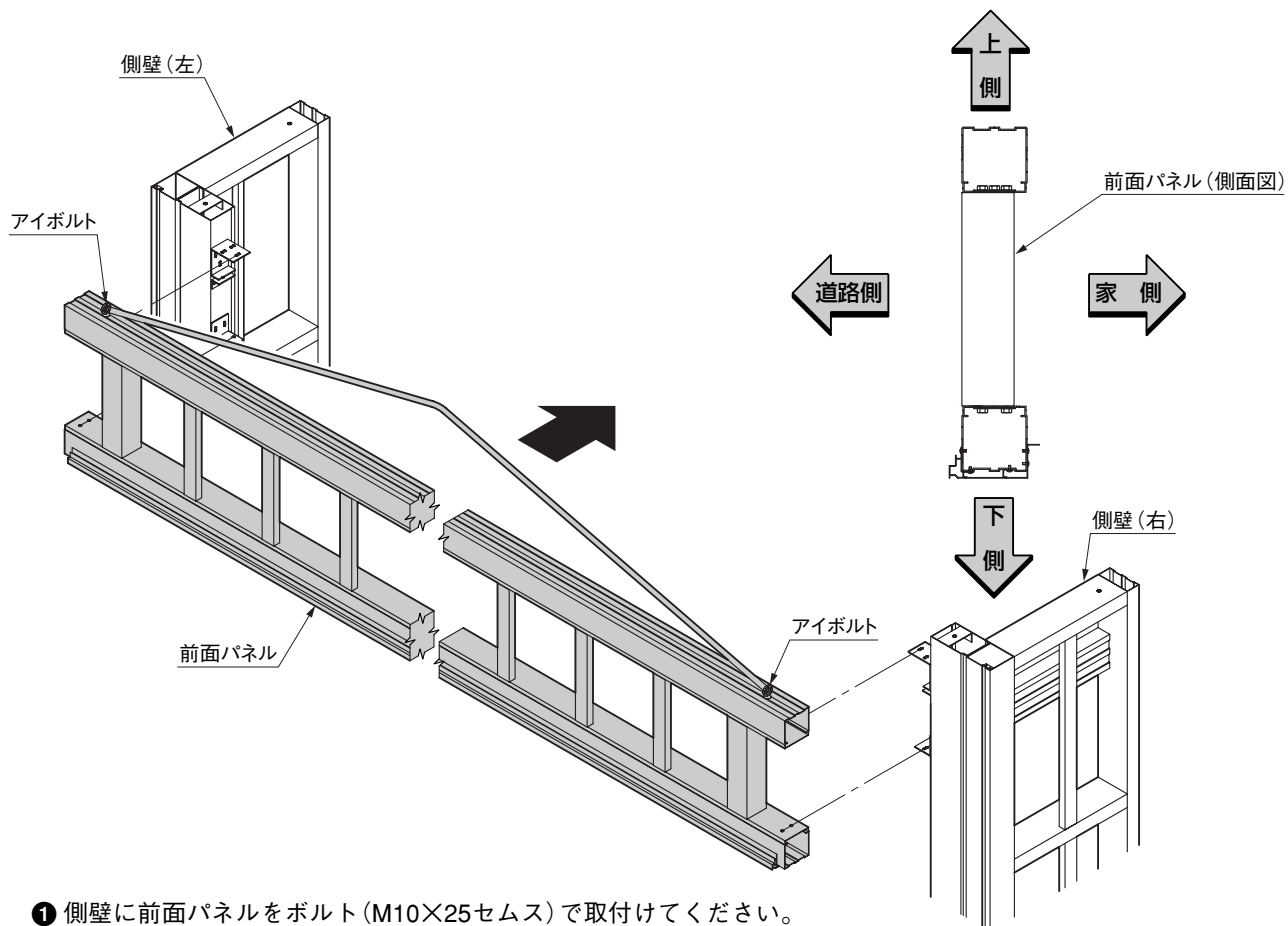


8. パネル下カバーの取付け

※前面パネルを側壁に取付ける前に前面パネル下カバーの取付けを行なってください。



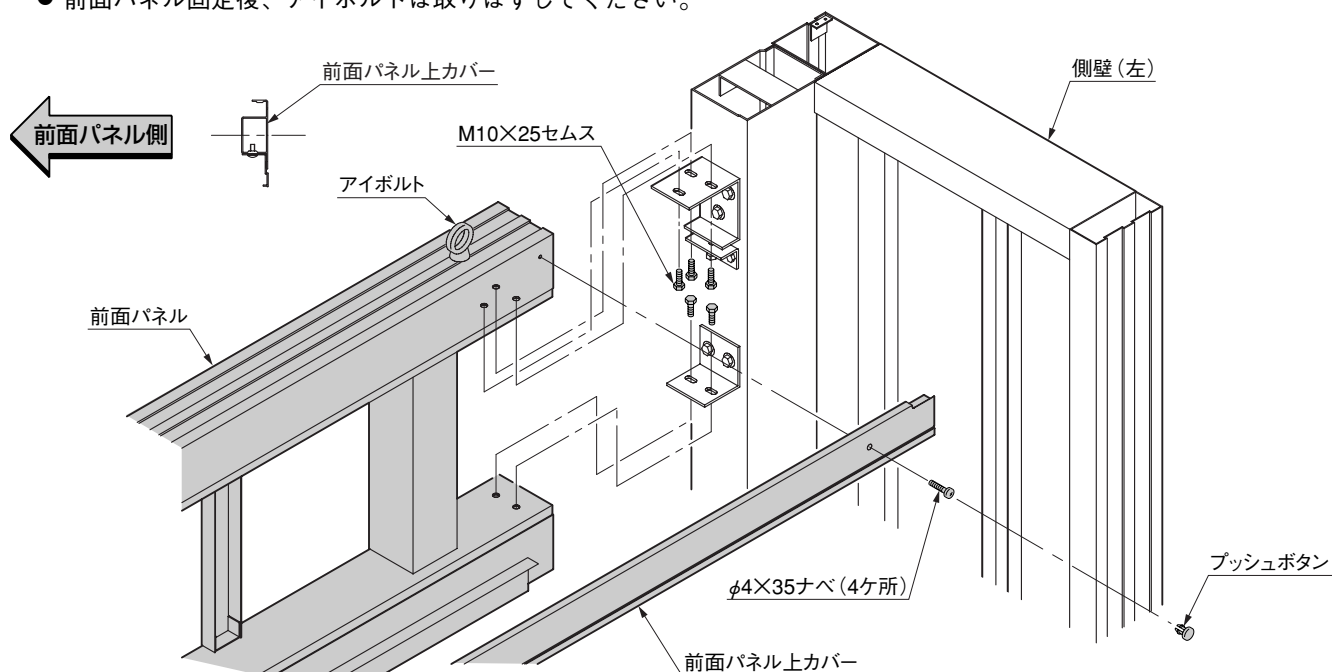
9. 前面パネルの取付け



① 側壁に前面パネルをボルト (M10×25セムス) で取付けてください。

<注 意>

- レールステイ・柱カバーの取付けを行なった後にレベル調整して、ボルトの本締めを行なってください。
- 前面パネル固定後、アイボルトは取りはずしてください。

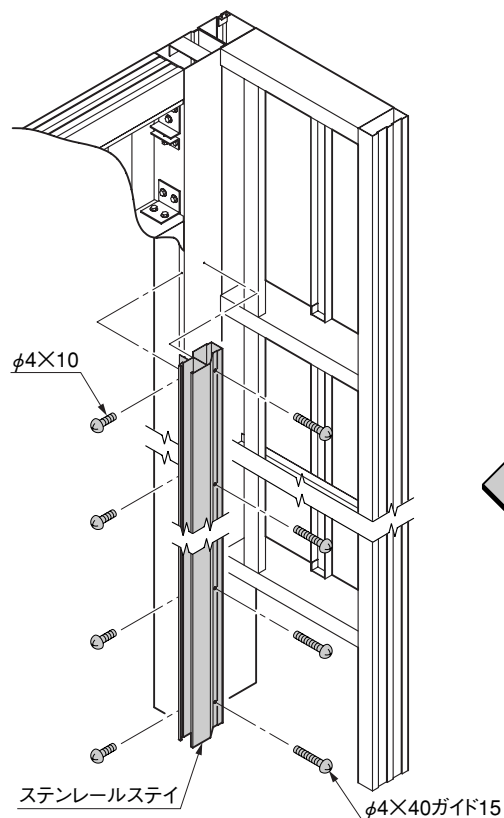


② 前面パネル組付け後、前面パネル上カバーをφ4×35ナベ(4ヶ所)で取付けてください。

③ 取付穴にプッシュボタンを取付けてください。

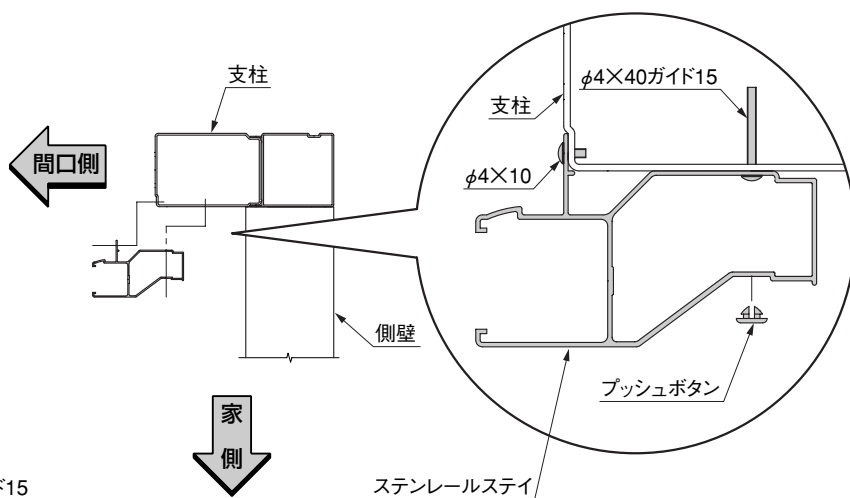
10. ステン用レールステイ・柱カバーの取付け

10-1 ステンレールステイの取付け

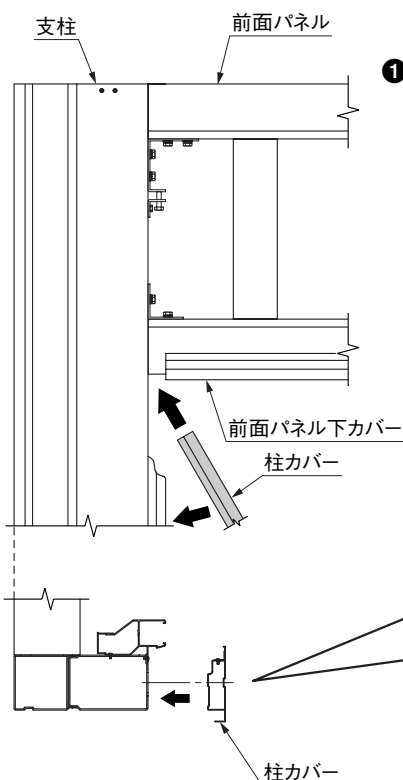
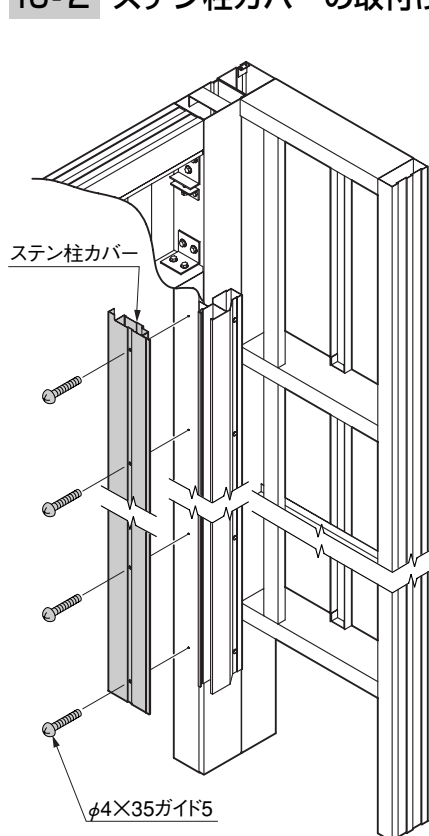


① ステンレールステイを支柱・間口側にφ4×10ネジで、支柱・家側の面にφ4×40ガイド15ネジで取付けてください。

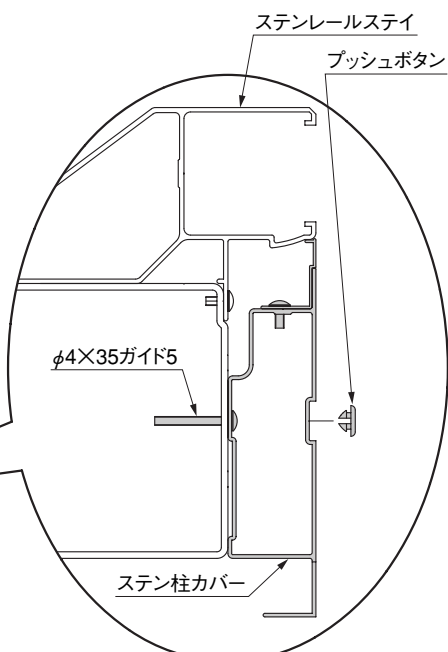
② 支柱・家側のネジ取付穴にプッシュボタンを取付けてください。



10-2 ステン柱カバーの取付け

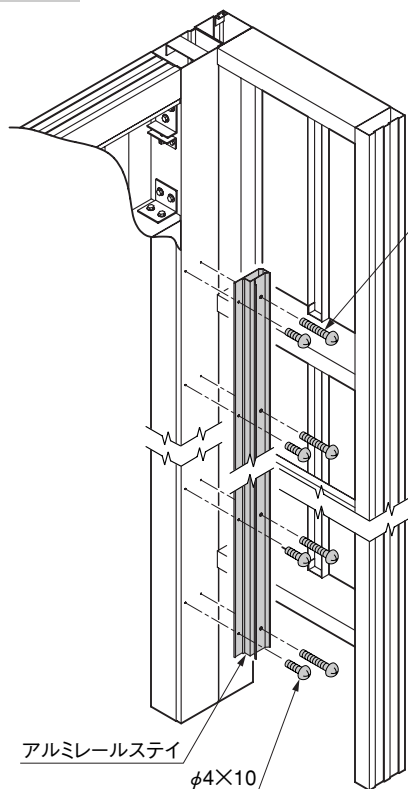


① 支柱と前面パネル下カバーの隙間にステン柱カバーを差込み、巾木を柱カバーの内側に入れてφ4×35ガイド5ネジで固定してください。



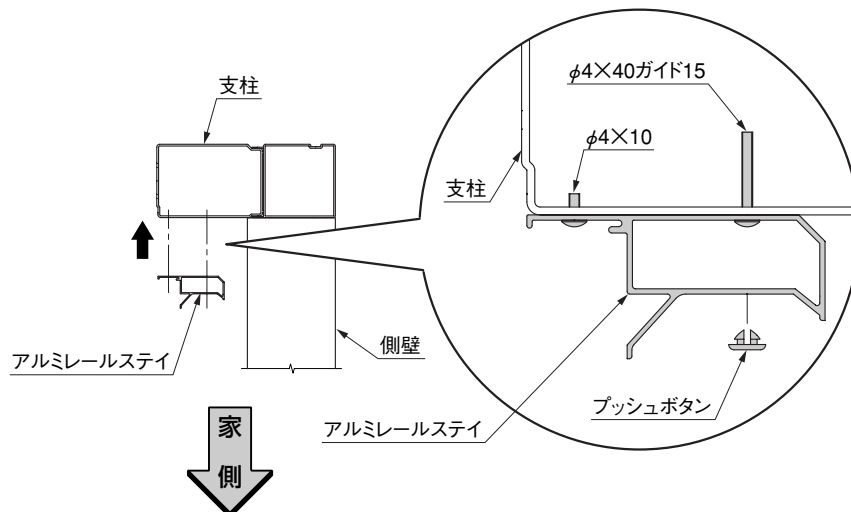
11. アルミレールステイ・柱カバーの取付け

11-1 アルミレールステイの取付け

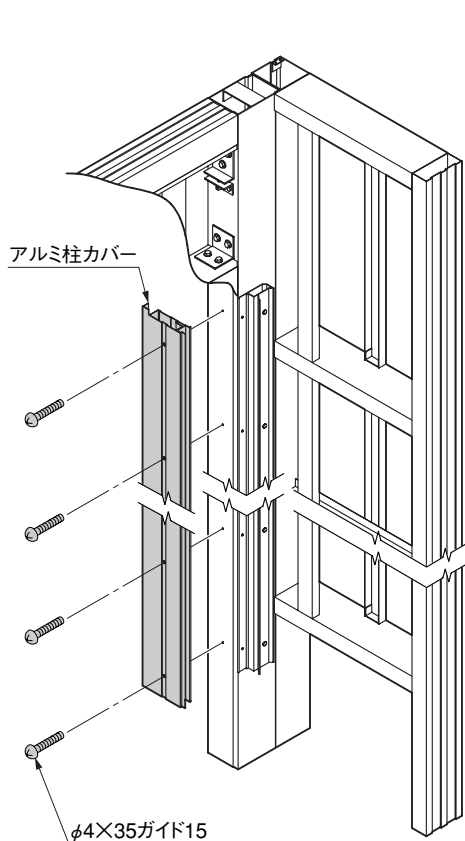


① アルミレールステイを支柱・家側の面に
φ4×10ネジとφ4×40ガイド15ネジで取
付けてください。

② レールステイのネジ取付穴にプッシュボ
タンを取付けてください。

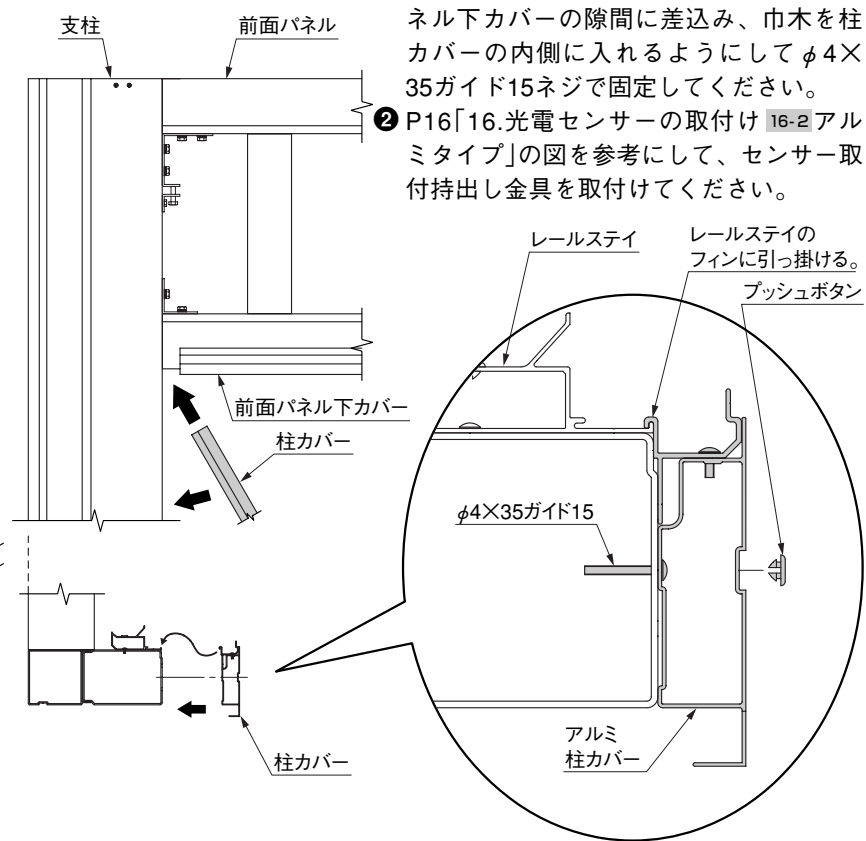


11-2 アルミ柱カバーの取付け

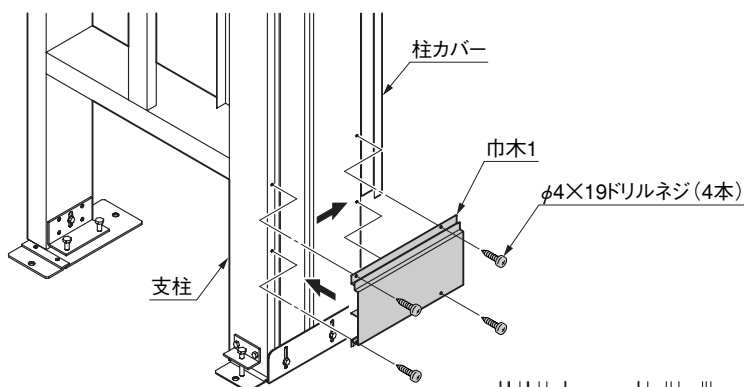
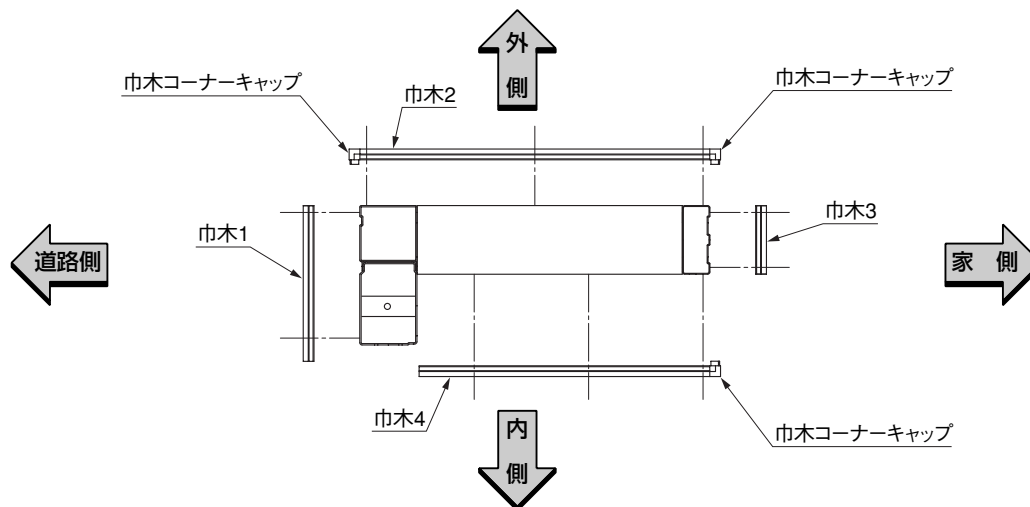


① アルミ柱カバーをレールステイのフィン
に引っ掛けた状態のまま、支柱と前面パ
ネル下カバーの隙間に差込み、巾木を柱
カバーの内側に入れるようにしてφ4×
35ガイド15ネジで固定してください。

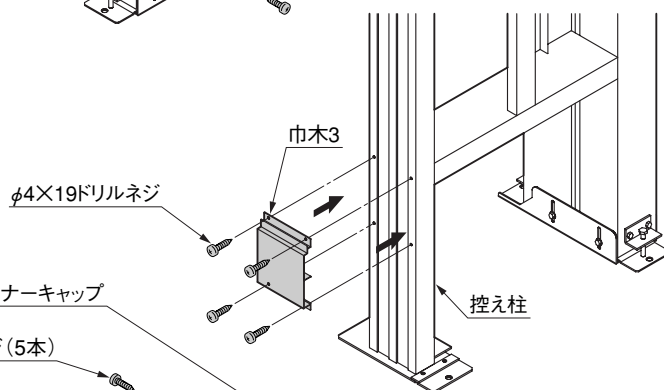
② P16「16.光センサーの取付け 16-2 アル
ミタイプ」の図を参考にして、センサー取
付持出し金具を取付けてください。



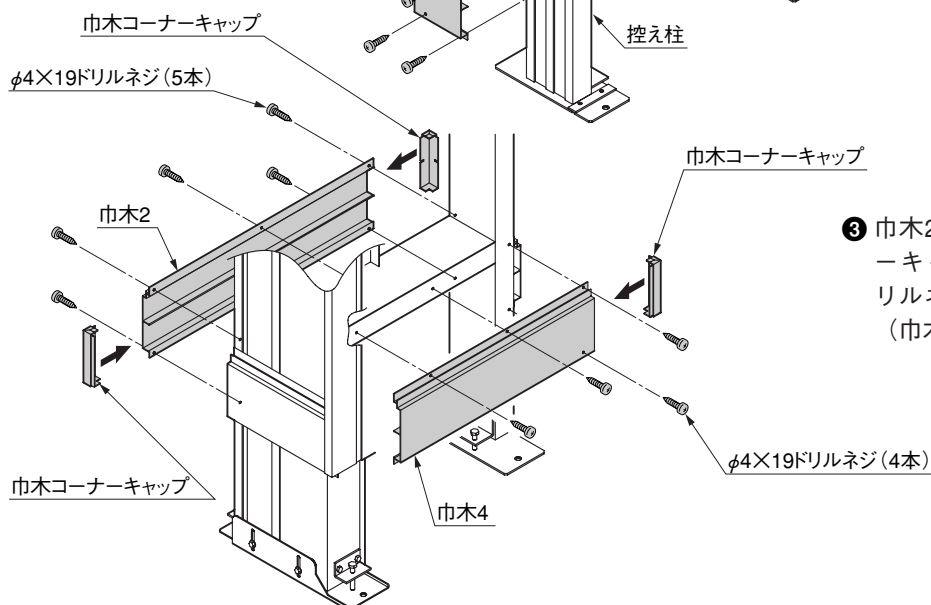
12. 巾木の取付け



❶ 柱カバーに巾木1を差込んで、φ4×19ドリルネジで支柱正面に取付けてください。



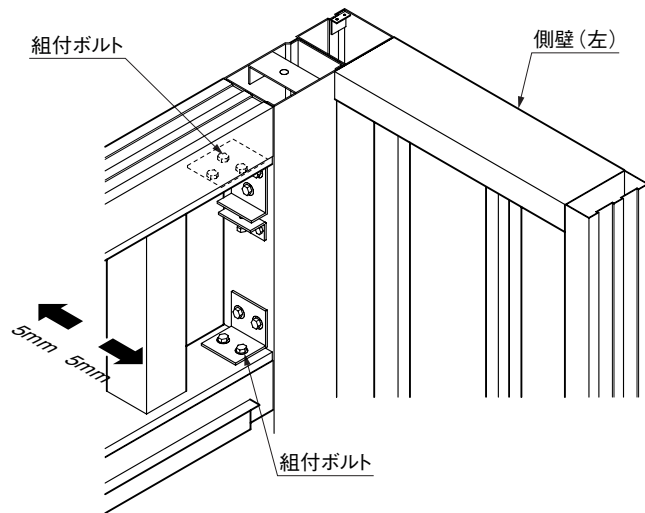
② 控え柱に巾木3をφ4×19ドリルネジで取付けてください。



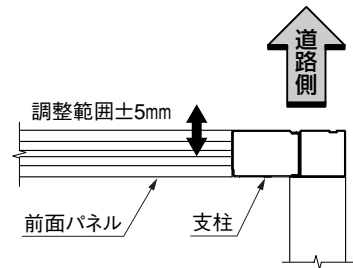
③ 巾木2の両端、巾木4の片側に巾木コーナークリップを差込んでから、φ4×19ドリルネジで側壁に取付けてください。
(巾木2：ネジ5本、巾木4：ネジ4本)

13. 壁のレベル調整

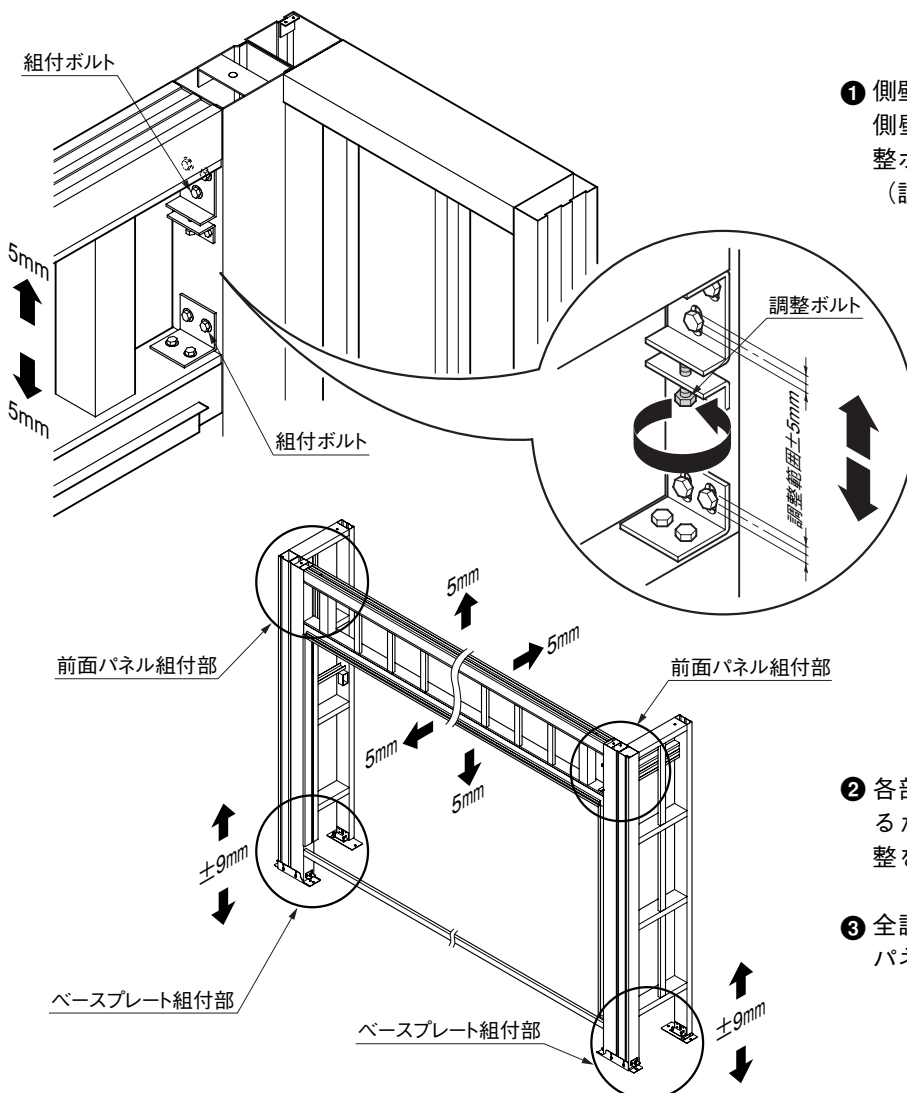
13-1 出幅のレベル調整



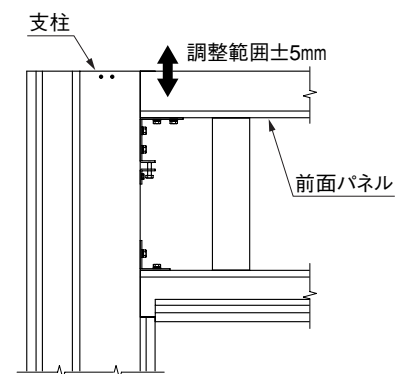
- ① 前面パネルと側壁を組付けている組付ボルトをゆるめて、側壁と前面パネルの前面が合うようにレベル調整を行ってください。（調整範囲は±5mmです。）



13-2 高さのレベル調整



- ① 側壁側の前面パネル取付ボルトをゆるめて、側壁と前面パネルの上面が合うように調整ボルトで高さ調整してください。（調整範囲は±5mmです。）



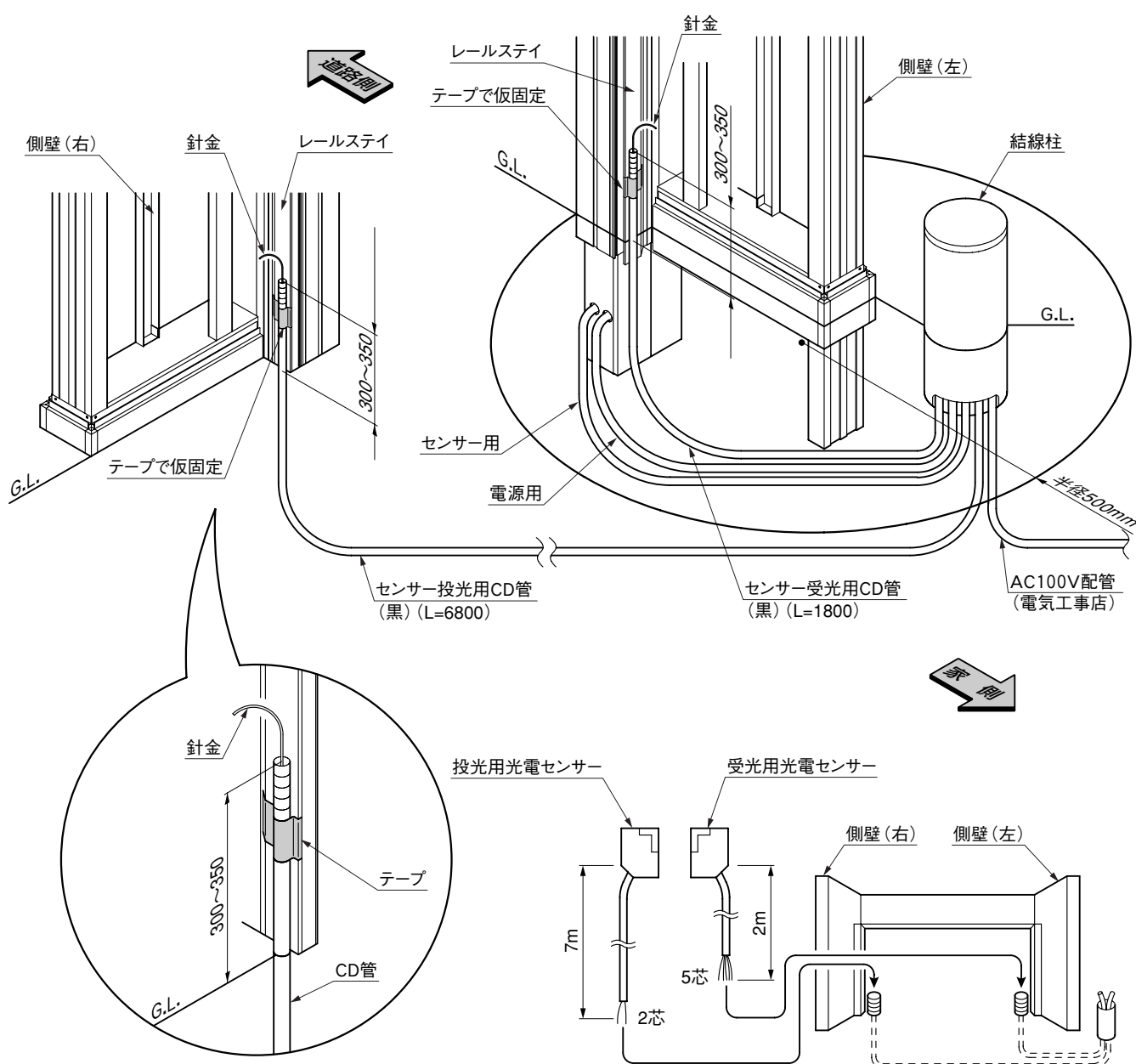
- ② 各部分の調整中に多少ずれる可能性があるため、再度全体のレベルチェック、調整を行ってください。
- ③ 全調整後、ベースプレート組付部、前面パネル組付部のボルトを固定してください。

14. CD管の配管

- ① 結線柱は、側壁(左)の家側面から半径500mm以内に施工してください。
- ② 側壁(支柱部)からのCD管(電源・センサー用)、センサーからのCD管(センサー受光・投光用)の計4本を結線柱まで配線してください。なお、結線柱内での電気工事は有資格の電気工事店様へご依頼ください。
- ③ センサー用CD管(黒)は、レールステイ最下部でG.L.より300~350mm出してテープにより固定してください。
- ④ 配管後、投光用および受光用光電センサーのケーブルは、レール下部のCD管から針金を使用して通してください。このとき、7mケーブルが付属している投光用光電センサーは側壁(右)より通してください。

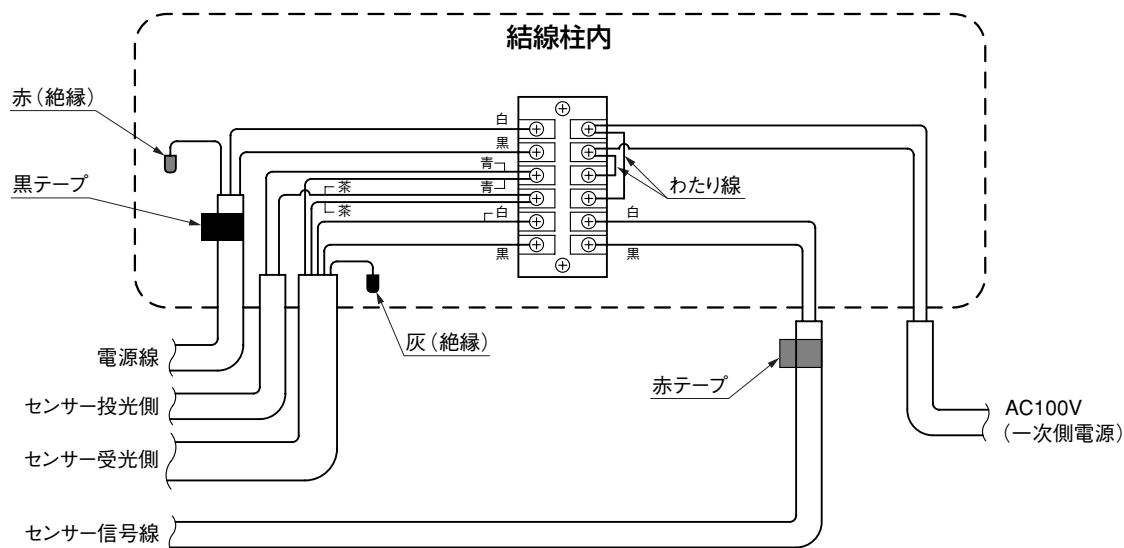
<注 意>

- センサー用CD管 (L=1800,6800) にセンサーケーブルを後で通しますので中に入っている針金は、はずさないください。
- 16ページの「16.光電センサーの取付け」まで、土間は仕上げないでください。



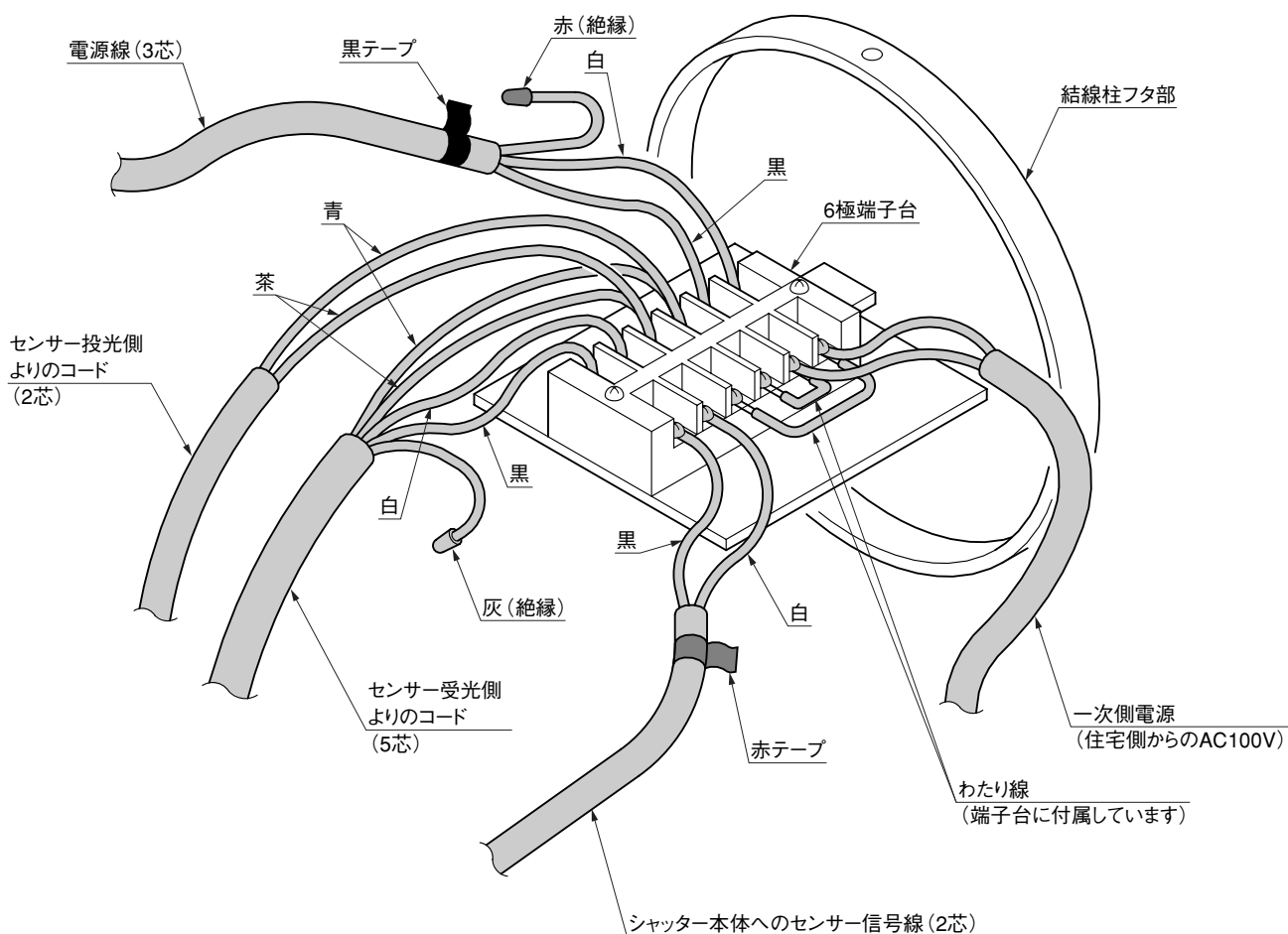
15. 結線

※この結線工事は、有資格の電気工事店様にご依頼ください。

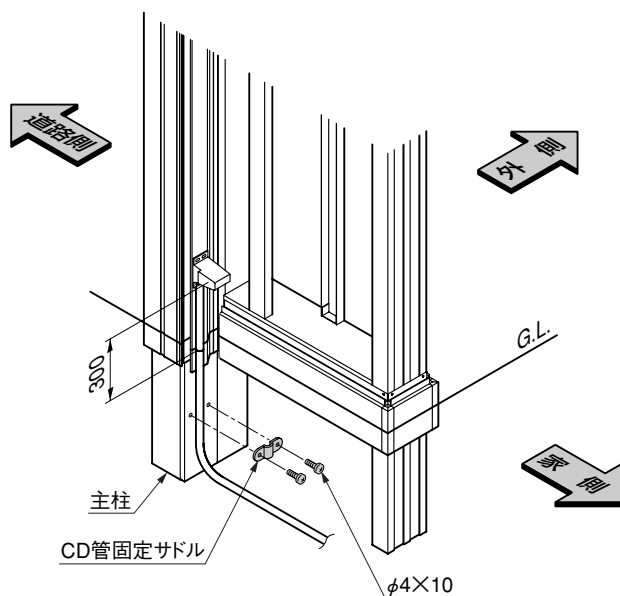


<注 意>

- 図に電源およびセンサーの結線を示します。
- ケーブルの色に注意して結線してください。
- 家側よりのAC100V電源が切れていることを確認してください。
- 結線図とリード線の色で、結線に間違いがないことを確認してから電源を入れてください。



16. 光電センサーの取付け

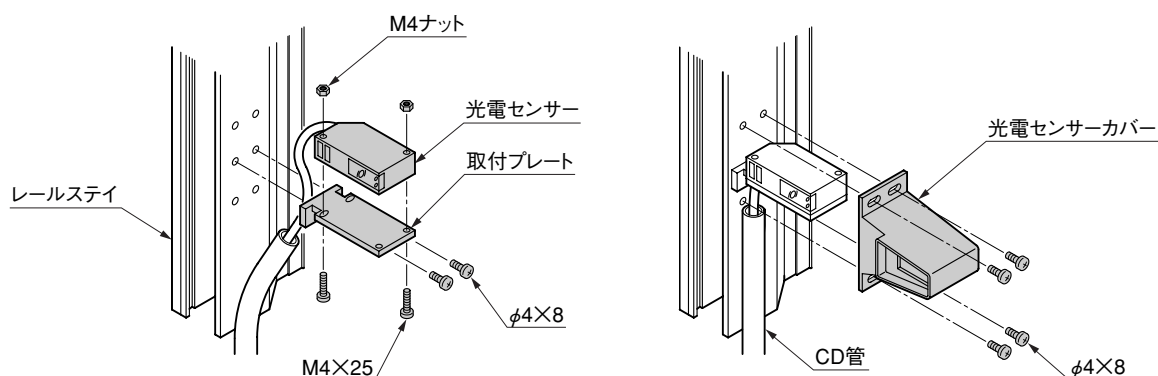


- ❶ レールステイに光電センサー取付プレートを、 $\phi 4 \times 8$ ネジで取付けてください。
- ❷ 取付プレートに光電センサーを、M4×25ネジとM4用ナットで取付けてください。
- ❸ 取付けた光電センサーを光電センサーカバーで保護するため、 $\phi 4 \times 8$ ネジでカバーを取付けてください。
- ❹ G.L.以下の主柱の任意の位置に、CD管固定サドルの位置に合わせて下穴($\phi 3.5$)をあけてください。
- ❺ CD管固定サドルを $\phi 4 \times 10$ ネジで取付け、CD管を固定してください。

<注 意>

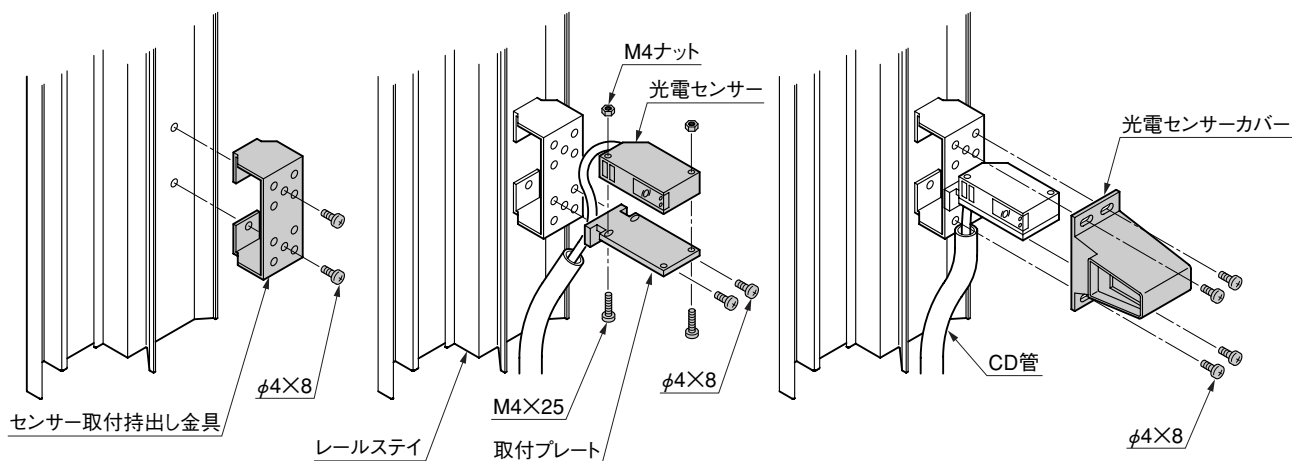
- センサーは左右両レールにありますので、両方取付けてください。
- 光電センサーカバーには左右があり、CD管用穴があいている方が下になります。

16-1 ステンタイプ



- ❶ レールステイに取付けてください。

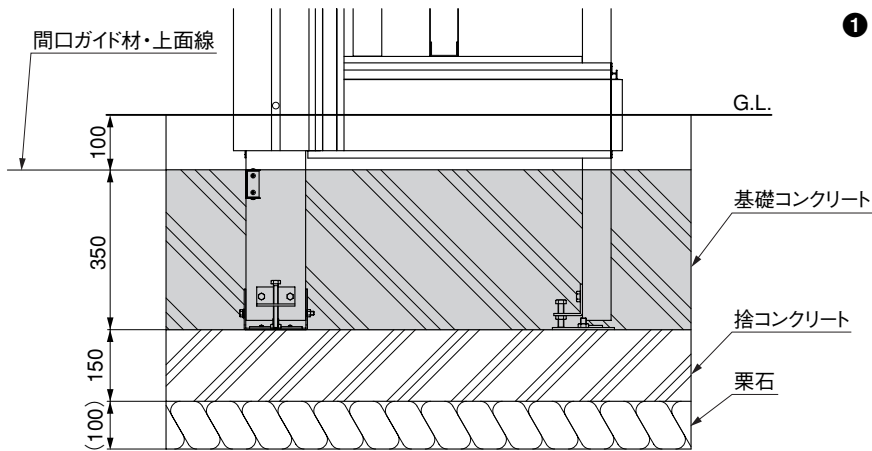
16-2 アルミタイプ



- ❶ センサー取付け持出し金具に取付けてください。

17. 基礎コンクリート打ち

- ① 基礎コンクリートを打設してください。
後でガイドレールを取付けますので、間口ガイド材の上面までとしてください。
特に支柱、ベースプレートのまわりには、十分行き渡るように打設してください。

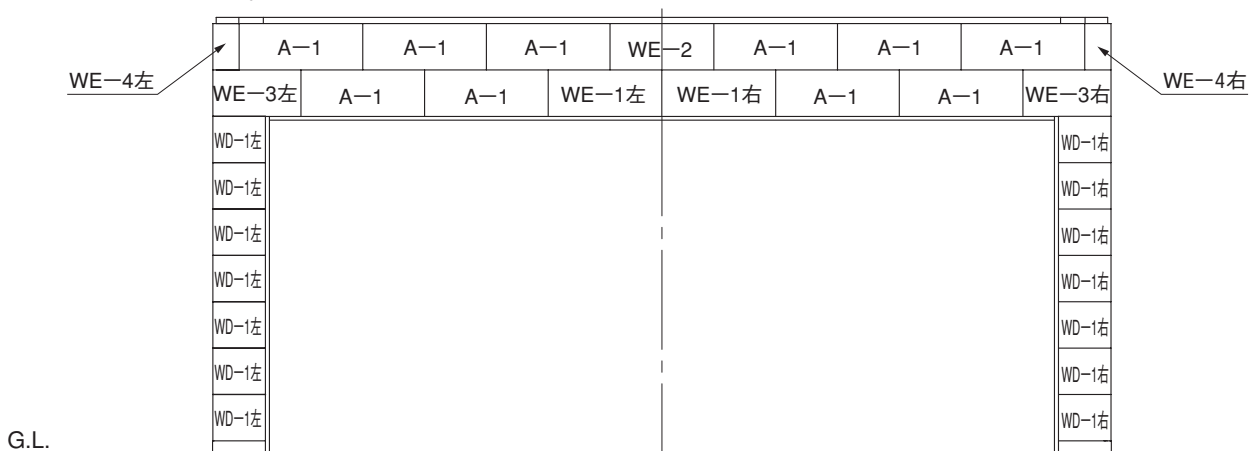


18. パネル割付け

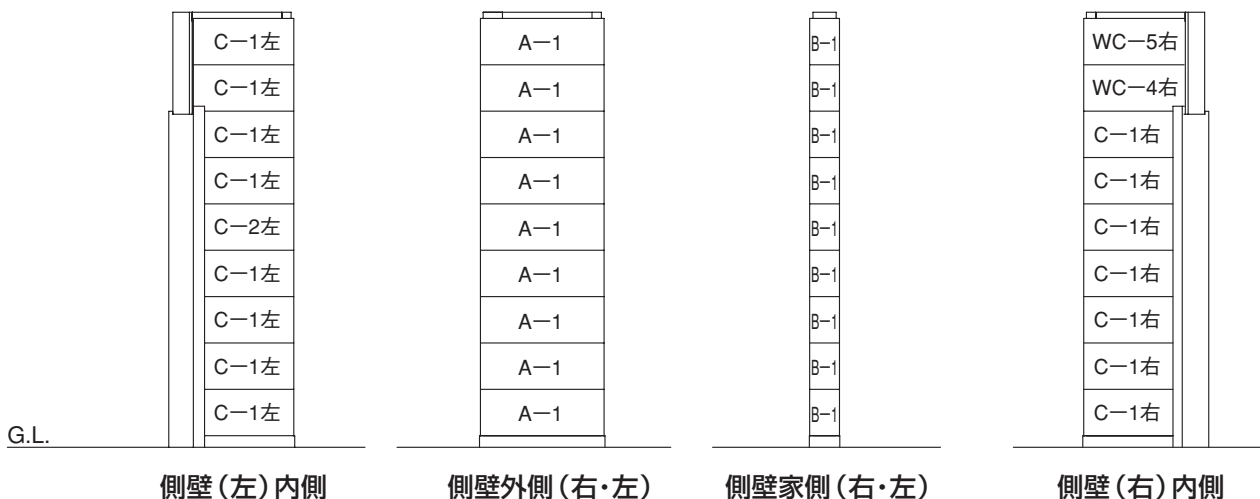
18-1 ワイドパネルシャッターH21

<注 意>

- パネルには各形状毎に固有の呼称があり、パネル裏面に印がありますのでパネル割付図に従って、パネルを張付けてください。



ワイドパネルシャッターH21 前面部全景

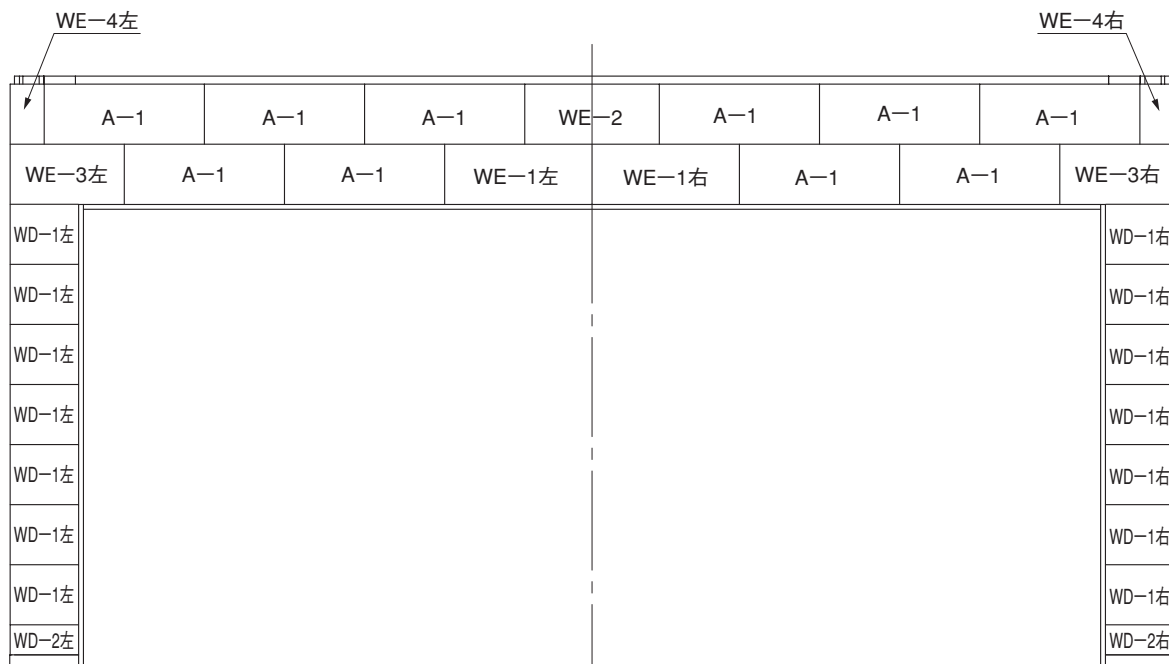


18. つづき

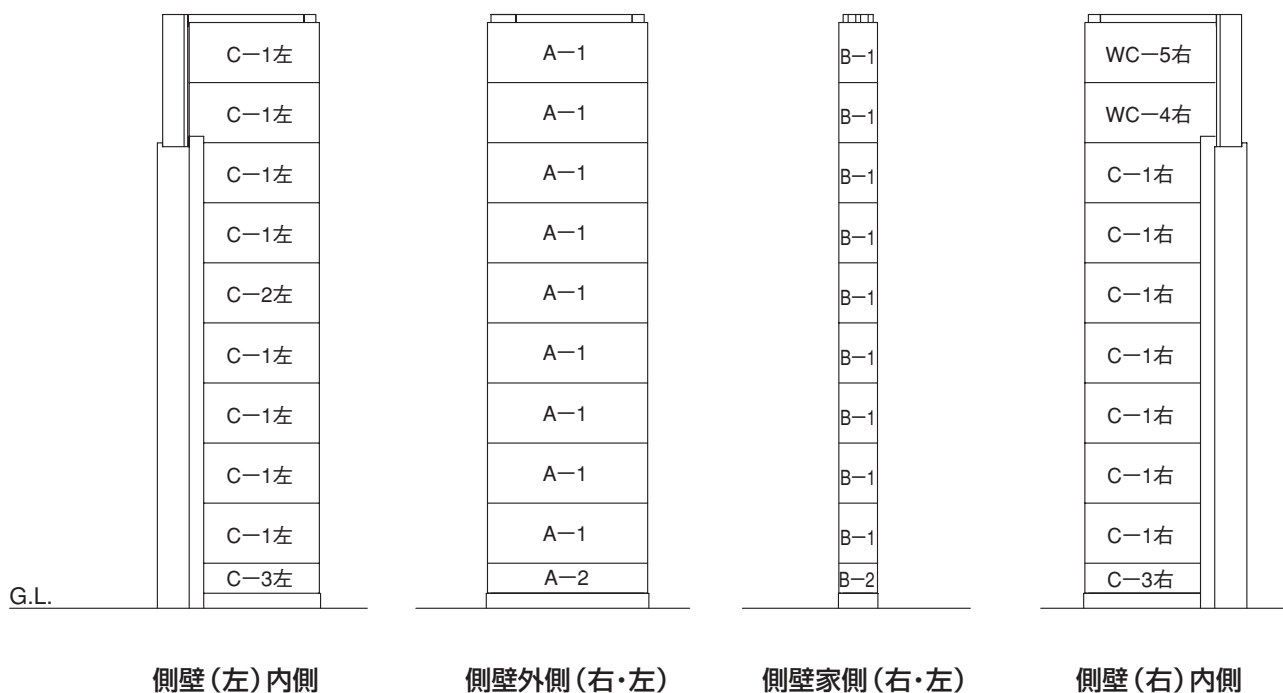
18-2 ワイドパネルシャッターH23

<注 意>

- パネルには各形状毎に固有の呼称があり、パネル裏面に印がありますのでパネル割付図に従って、パネルを張付けてください。



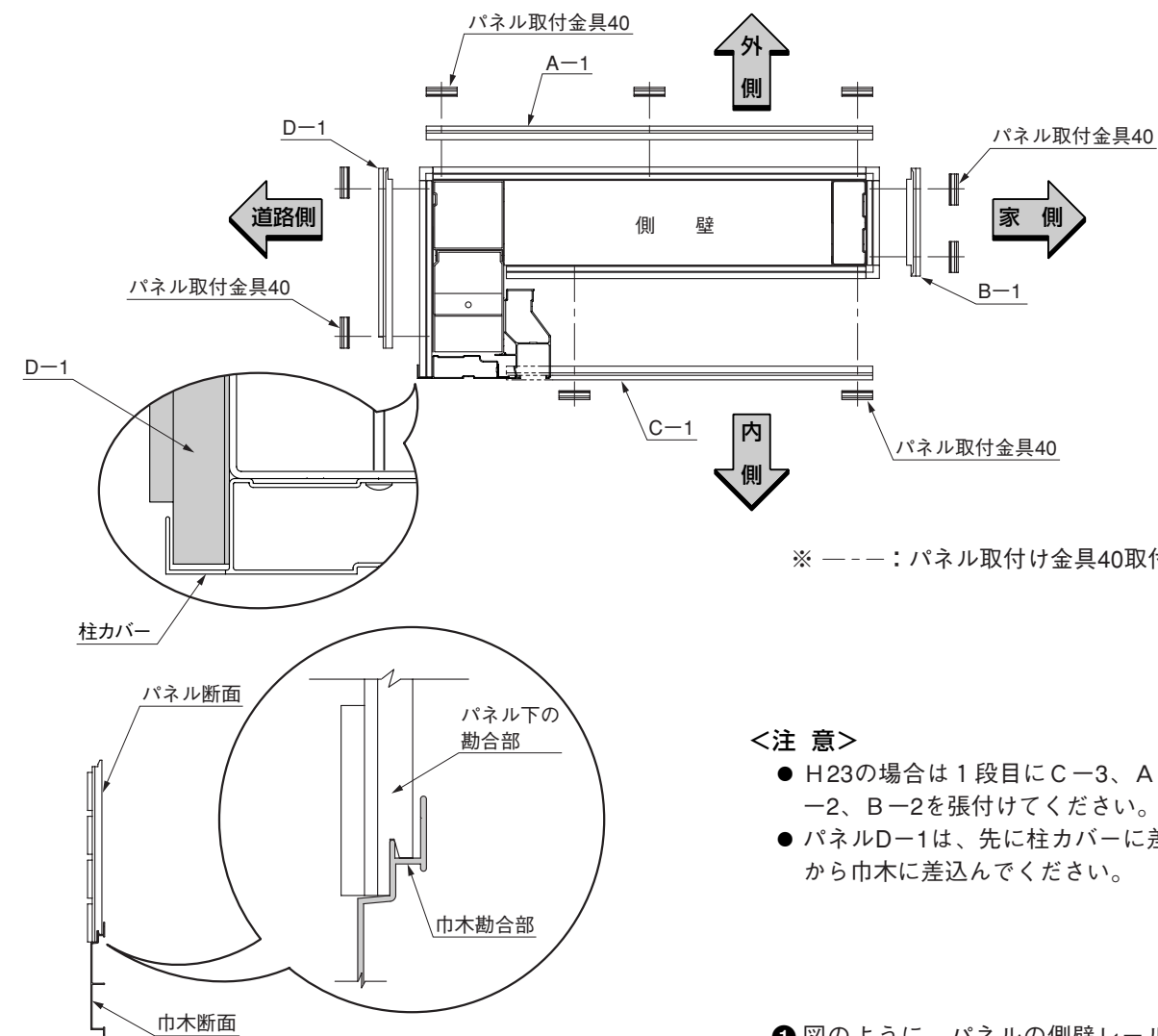
ワイドパネルシャッターH23 前面部全景



19. パネルの取付け

※パネル割付図に従い、側壁下面より1段ずつパネル位置出し材で確認しながら張付けてください。

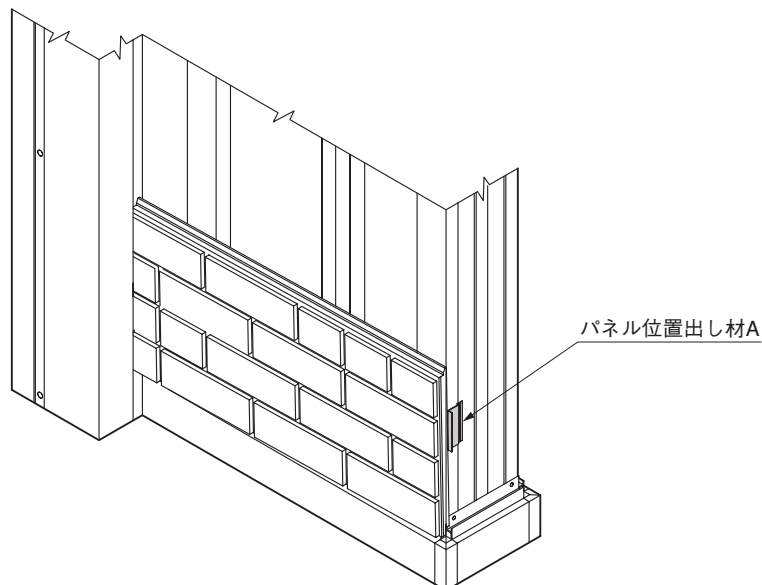
19-1 パネルの取付け ※図の側壁は左用です。



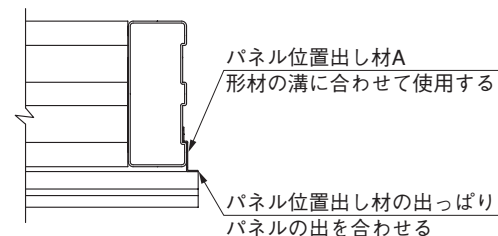
※ --- : パネル取付け金具40取付け位置

<注 意>

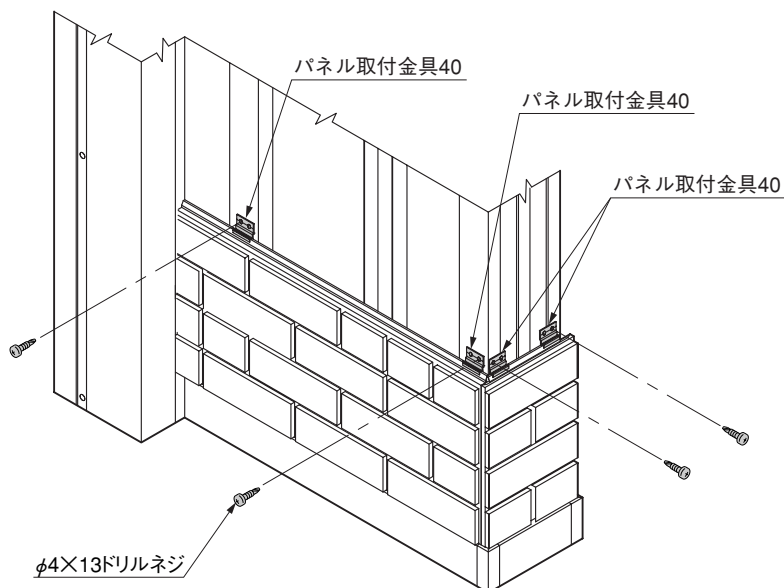
- H23の場合は1段目にC-3、A-2、D-2、B-2を張付けてください。
- パネルD-1は、先に柱カバーに差込んでから巾木に差込んでください。



- ① 図のように、パネルの側壁レール側を上から差入れパネル下の勘合部を巾木に差込んでください。パネルの固定位置はパネル位置出し材Aを使用して確認しながら行なってください。もし、パネルに反りがあり巾木に入り難い場合は、パネルの片側のみ巾木に差込み、もう片方は巾木から浮かした状態のままパネルを押して反りを補正させながら巾木にパネル下の勘合部を差込んでください。他のパネルも同様の手順で巾木に差込んでください。



19. つづき



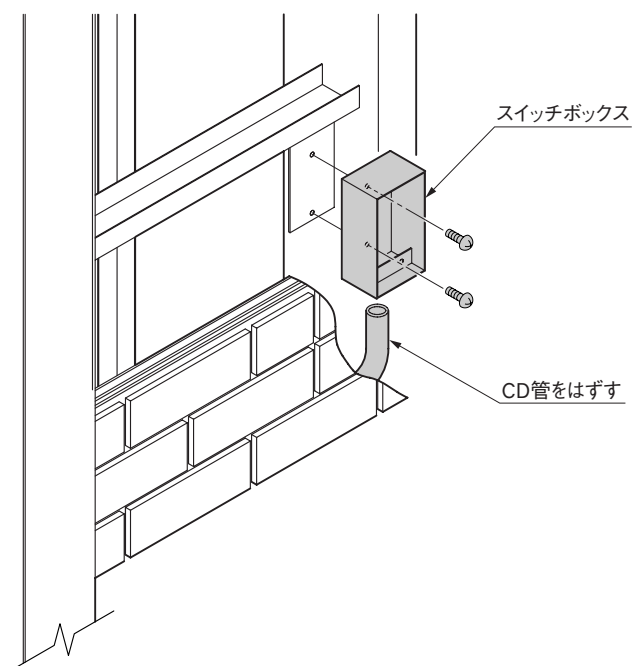
- ② 同じ段のパネルを巾木に差込んだら通りを確認の上、パネル取付金具をφ4×13ドリルネジで取付け固定してください。

<注 意>

- 金具1個に付ドリルネジは1本使用してください。
- 側壁で使用する金具は、すべてパネル取付け金具40を使用してください。
(金具はA-1:3個、B-1:2個、C-1:2個、D-1:2個を使用)
- パネル勘合部で浮きがないようにパネル取付け金具の部分でたたきこんでください。

- ③ 2段目以降は、パネル下の勘合部をパネル取付け金具に差込んでください。その他、手順は1段目の巾木への差込みと同様にパネル取付け金具に差込んでください。

19-2 スイッチボックス部の取付け



- ① スイッチボックス部のパネル(C-2左)を取付ける前にスイッチボックスを取りはずしてください。

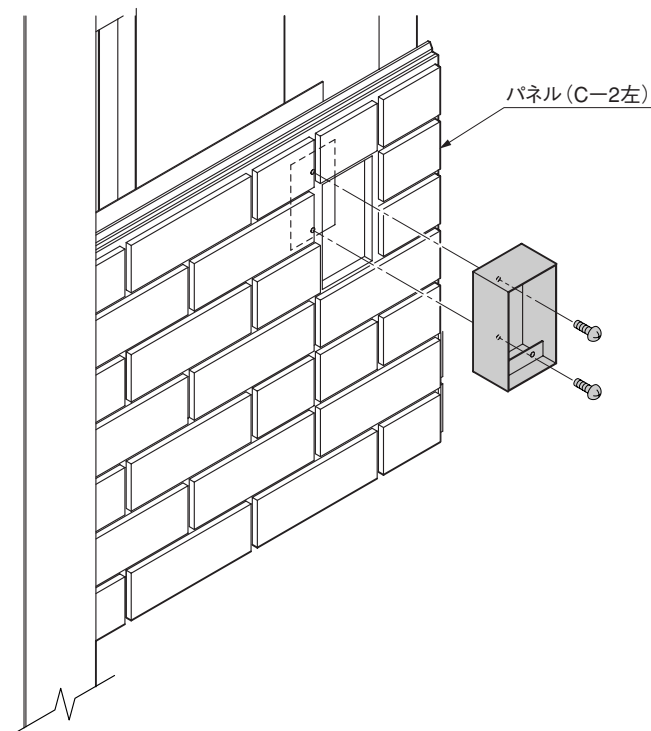
<注 意>

- スイッチボックスに差し込んであるCD管を一度、取りはずしてください。

- ② スイッチボックス部のパネル(C-2左)を取付けてください。

<注 意>

- 反対側のパネル(A-1)はスイッチボックスの取付けが終わるまで取付けしないでください。

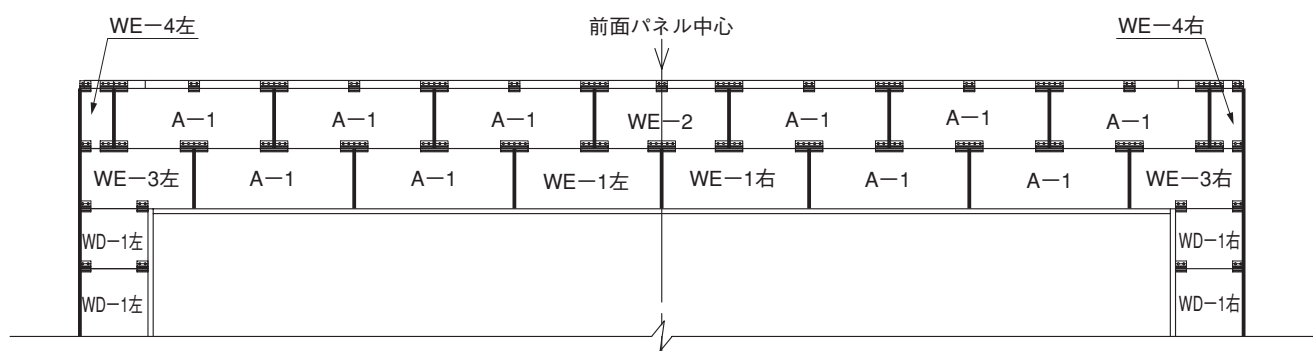


- ③ パネルの取付け後、先程取りはずしたスイッチボックスを取付けてください。

<注 意>

- 再度、スイッチボックスにCD管を取付けてください。

20. 前面パネルへのパネルの取付け



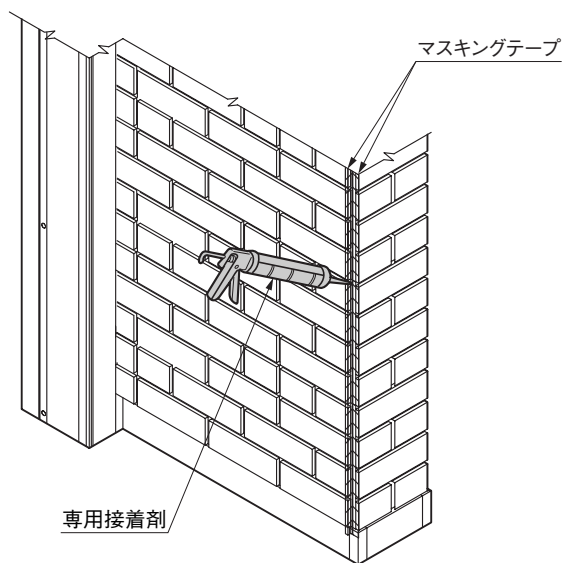
- : パネル取付け金具40
 ■■ : パネル取付け金具100

- ① 前面パネルにパネルを張付ける場合は、前面パネルの中心から追ってパネルを取付けてください。
- ② 1 段目を全て差込んで、パネル継ぎ目の間隔等の調整が終了してから、パネル取付け金具用固定ネジは本締めしてください。

<注 意>

- 調整時にパネルが動き難い場合はパネル継ぎ目にスクレーパー等を差込みこじると調節できます。
- 太線部は全てのパネル張付け後に次ページの「21.パネルの継ぎ目の補修方法」に従い、継ぎ目を補修してください。

21. パネルの継ぎ目の補修方法

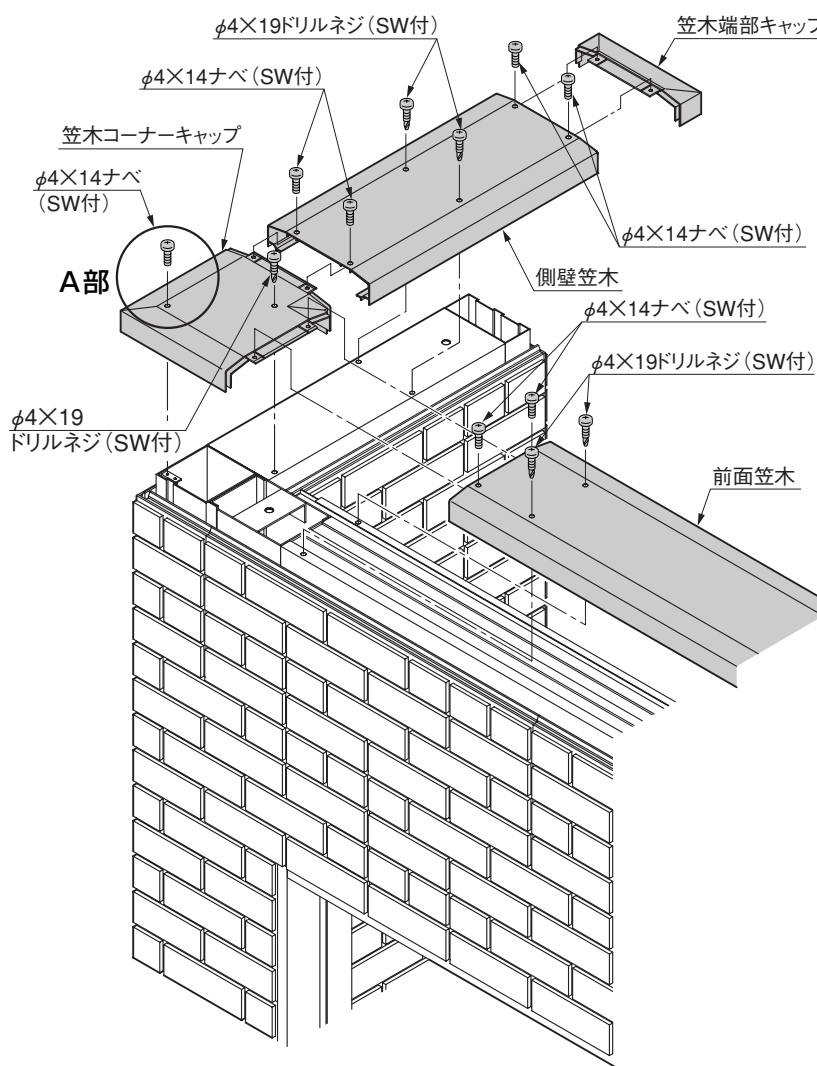


- ① パネルを全て張付けた後に前面パネル継ぎ目部およびコーナー部にTブロックラテル専用接着剤を充てんし接着剤が硬化しない内にTブロックラテル継ぎ目補修材(灰色)で補修してください。

<注 意>

- 接着剤を充てんする場合は必ずマスキングしてください。
- 継ぎ目補修材(灰色)の使用方法は継ぎ目補修材の取付説明書をご覧ください。

22. 笠木、笠木コーナーキャップ、端部キャップの取付け



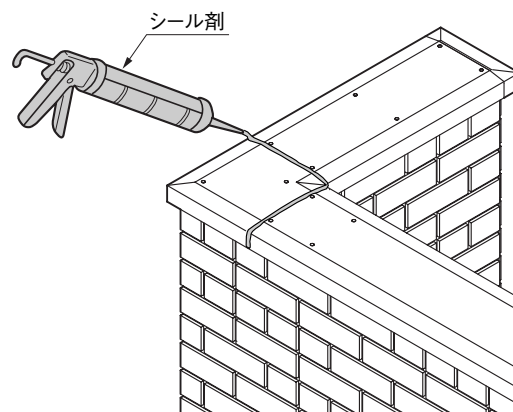
- ① 前面笠木に笠木コーナーキャップを差込み、笠木コーナーキャップのA部をφ4×14ナベ(シーリングワッシャー付)で取付けてください。

- ② 前面・側壁笠木と笠木端部・コーナーキャップをφ4×14ナベ(シーリングワッシャー付)で取付けてください。

- ③ 笠木コーナーキャップと前面・側壁笠木をφ4×19ドリルネジ(シーリングワッシャー付)で取付けてください。

<注 意>

- φ4×19ドリルネジを使用して組付ける部品の下孔はありません。
- ④ 笠木と笠木端部・コーナーキャップの合わせ目をシール剤で処理してください。



23. シャッター取付工事(シャッター工事店様にご依頼ください。)

シャッター取付工事内容

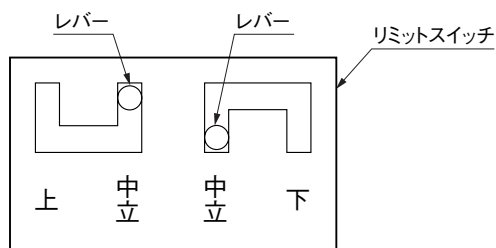
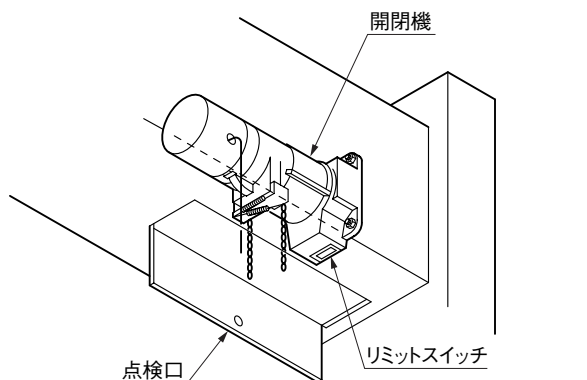
- シャッター取付工事
- 二次配線および光電センサーの光軸調整
- 上限・下限の調整

<注 意>

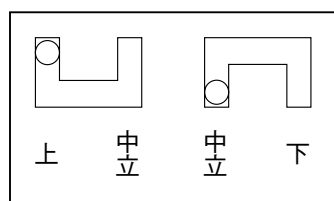
- シャッター取付工事は、ゲート本体とは別に施工してください。
- 土間が仕上がっていない場合、下限は仮設定となりますので必ず再設定をしてください。

24. 上限、下限の調整および配線図

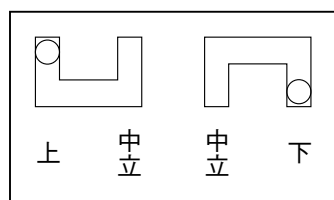
24-1 調整手順



A図



B図



C図

- ① 点検口をあけ、開閉機に内蔵されているリミットスイッチのレバーを中立に入れ、押ボタンスイッチ(開でも閉でもよい)を押し、スラットを1m以上運転してください。(A図参照)

<注 意>

- リミットスイッチは構造上セットした位置から3~4cm進んで停止するようになっていますので、②~⑤の手順にしたがって作業してください。

上限のセット

- ② 上限の停止位置より4cm程手前でスラットを止め、レバーを上に入れて上限をセットしてください。(B図参照)
- ③ 押ボタンスイッチの開ボタンを押して、上限の位置を確認してください。

<注 意>

- 正位置に止まらない場合はただちにレバーを中立に戻して②の操作を繰り返してください。
- ③の再調整の際、レバーを中立の位置に戻さずに少しでも動かした場合は①から繰り返してください。

下限のセット

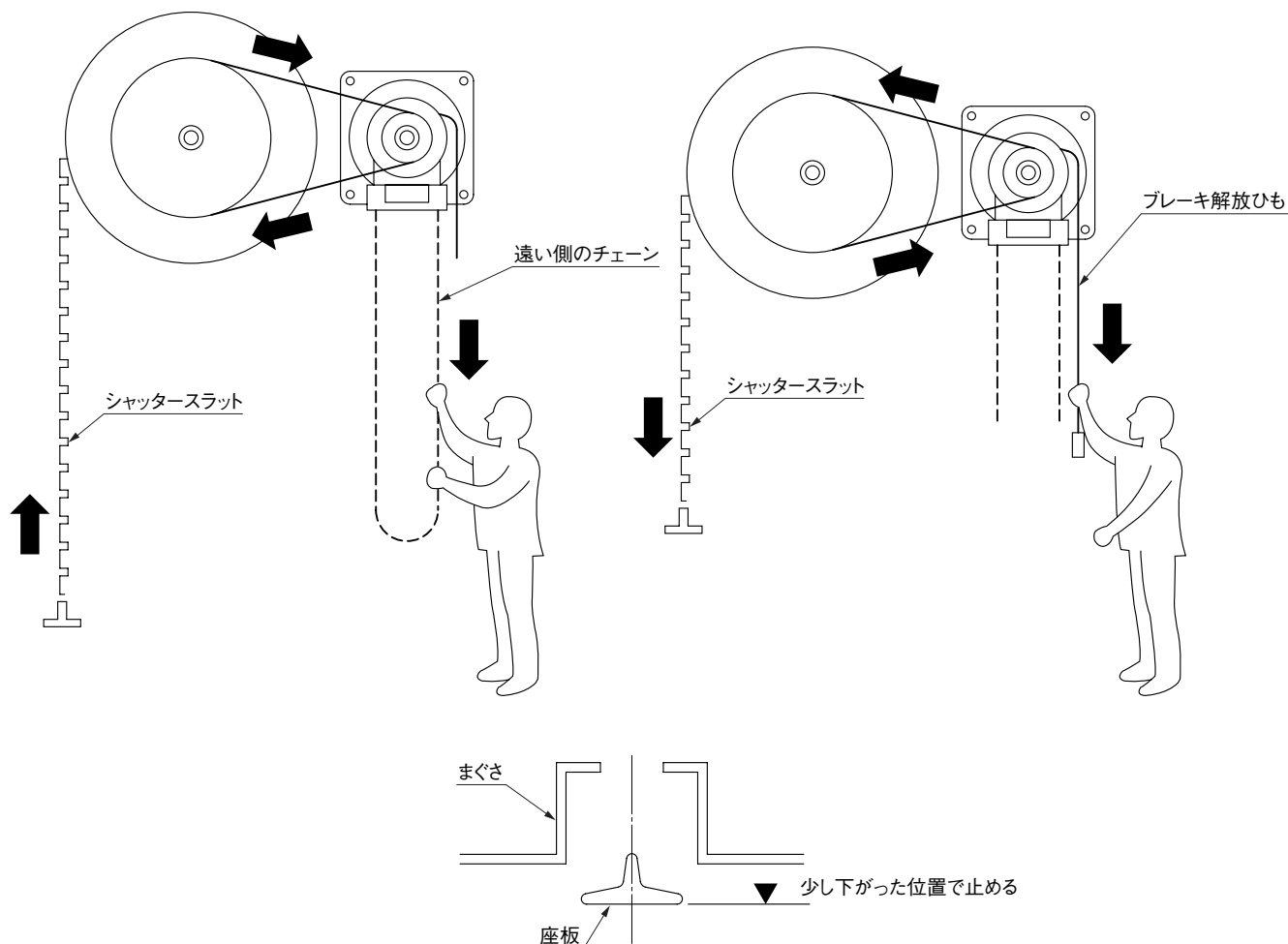
- ④ 下限の停止位置より3cm程手前でスラットを止め、レバーを下に入れて下限をセットしてください。(C図参照)
- ⑤ 押ボタンスイッチの閉ボタンを押して、下限の位置を確認してください。

<注 意>

- 正位置に止まらない場合はただちにレバーを中立に戻して④の操作を繰り返してください。
- ⑤の再調整の際、レバーを中立の位置に戻さずに少しでも動かした場合は①から繰り返してください。

25. 電動式・停電時の手動操作について

25-1 シャッターを開放する場合



- ① シャッターから遠い側のチェーンを引いてください。シャッターが開放します。

<注 意>

- シャッターに近い側のチェーンを引いてもロックされていますので、無理に引かないでください。
- 手動での開放中は、押ボタンスイッチでの操作は絶対にしないでください。

- ② 全開に近づいたら座板(シャッター下部)が、まぐさ(あるいはケース下部)より少し下がった位置で止めてください。

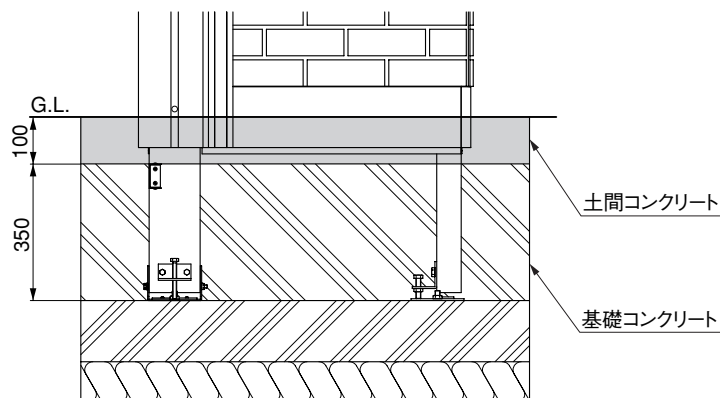
<注 意>

- 座板をまぐさより上げると電動で降下しなくなります。さらに上げるとまぐさや開閉機を壊してしまいますのでご注意ください。

25-2 シャッターを閉鎖する場合

- ① シャッターの下に障害物がないことを確認してください。
- ② ブレーキ解放ひもを引いてください。シャッターが降下し、ひもを離すとシャッターは停止します。

26. 土間コンクリート打ち



- ① G.L.まで、土間コンクリートの打設をしてください。

27. 施工チェックリスト

本体ユニットを施工される販店様へのお願い

次工程のシャッター取付工事へのつながりを円滑にするため、施工範囲の確認と本体ユニット建付け寸法のチェックにご使用ください。

	施工項目	取付説明書記載ページ	チェックポイント	確認欄
本体工事	本体ユニットの建付け施工	P13「13.壁のレベル調整」まで	・ レール内一内寸法 5080±5mm ・ 左右側壁のレベル調整 ±5mm	未・済
	巾木の取付け	P12「12.巾木の取付け」		未・済
	CD管の配管	P14「14.CD管の配管」		未・済
	光電センサーの取付け	P16「16.光電センサーの取付け」	・ カバーの施工まで行なってください。	未・済
	基礎コンクリート打ち	P17「17.基礎コンクリート打ち」		未・済
電気工事	配線の結線	P15「15.結線」		未・済
表面仕上げ工事	パネルの取付け	P17「18.パネルの割付け」から P22「21.パネルの継ぎ目の補修方法」まで		未・済
	笠木の取付け	P22「22.笠木、笠木コーナーキャップ、 端部キャップの取付け」		未・済
シャッター工事	シャッター本体取付施工			未・済
	二次側配線工事			未・済
	光電センサーの光軸調整			未・済
	上限、下限設定			未・済
	運転確認			未・済
	リモコン作動確認			未・済

メモページ

[illegible]



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

D298

200009A
200105C